

瀬戸市民の スポーツライフ

「運動・スポーツ習慣の定着に向けたプロジェクト」
「瀬戸市民のスポーツ実施率向上に向けたプロジェクト」

スポーツに関するアンケート調査 報告書



令和 8 年 2 月 20 日

瀬戸市経済文化部スポーツ課

(協力：名古屋学院大学スポーツ健康学部)

はじめに

この度は、運動・スポーツ習慣の定着に向けたプロジェクトにご協力いただき、誠にありがとうございました。皆様におかれましては、忙しい中でアンケートにご回答いただき、大変感謝しております。いただいた貴重なご意見は、本市のスポーツ振興施策をより効果的に進めるための重要な指針となります。

本アンケートは、運動やスポーツ活動が日常生活にどのように取り入れられているか、また、どのような障害や課題が習慣化を妨げているのかを明らかにすることを目的として実施しました。運動習慣を定着させるためには、単に運動を推奨するだけではなく、生活環境や個々の意識、または社会的な要因を踏まえた取り組みが重要です。そこで、アンケート結果を通じて、現在の運動習慣の実態を把握し、障害となっている要因を探し出すきっかけとなり、国、県の調査結果と比較し、本市ならではの方策につながるものと期待しております。

そこで、本報告書は、これらのデータを基に、運動習慣を定着させるために必要な施策や改善点を洗い出し、具体的なアクションプランを提示するために作成しております。特に、時間的な制約やモチベーションの低下、運動の場所・機会不足といった課題に対して、今後、どのような解決策が有効であるかを検討してまいります。また、運動の実施においてポジティブな要素を特定し、参加者が続けやすい環境作りを目指す方針を打ち出してまいりたいと考えております。

皆様のご意見をもとに、より多くの方々が持続可能な運動習慣を身につけるための有益な指針を作成し、健康的なライフスタイルの実現をサポートすることが目標となります。運動・スポーツ習慣の定着に向け、引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

瀬戸市経済文化部スポーツ課

課長 田口 浩一

目次

Q&A 早見表	1
I. 調査概要	4
1. 調査目的	4
2. 調査項目	4
3. 調査対象	5
4. 調査方法	6
5. 回収数	6
6. 報告書の見方	7
II. 回答者のプロフィール	9
1. 基本情報	9
2. 地域との関係	12
3. 健康状態	13
4. 過去のスポーツ経験	15
III. 「する」スポーツ	17
1. 行った日数	17
2. 行ったスポーツ	22
3. 週1以上行った理由	23
4. 週1以上行えなかった理由	24
5. スポーツが嫌いな理由	26
6. 行った場所	27
7. クラブ・チームへの加入状況	28
8. 初めて（または久しぶりに）行ったスポーツ	29
9. 始めてみたいスポーツ	30
IV. 「みる」スポーツ	32
1. 現地で観たスポーツ	32
2. 現地で観た理由	34
3. TV や Web で観たスポーツ	35
4. TV や Web で観た理由	36

V. 「支える」スポーツ	37
1. スポーツボランティアを行った日数	37
2. 行ったスポーツボランティア	39
VI. 趣味・娯楽としてのスポーツの位置	40
1. スポーツを行う以外の趣味・娯楽	40
2. 現在重要な趣味・娯楽	41
3. 今後行ってみたい趣味・娯楽	42
VII. スポーツを取り巻く環境	43
1. 知っている公共スポーツ施設	43
2. 利用したことがあるスポーツ施設	44
3. 運動・スポーツに関する情報源	45
4. 不足している情報	46
VIII. 瀬戸市のスポーツ政策	47
1. 公共スポーツ施設への要望	47
2. 市のスポーツ事業の認知度	48
3. 市のスポーツ事業への参加状況	49
4. 市への要望	50

Q&A 早見表

		詳しくは
瀬戸市の人たちは過去1年間にどれくらいスポーツをしたのかな？	週1回以上した人が57%、全国平均(53%)より高い値だよ。	17 ページ
どんなスポーツをしたのかな？	トップ3は「ウォーキング」(66%)、「トレーニング」(20%)、「体操」(19%)だよ。競技としての「スポーツ」より「運動」の方が人気だね。	22 ページ
(週1以上行った人限定) どんな理由でスポーツをしたのかな？ ※単一回答	一番多いのは「健康のため」(36%)。記録や精神を高めることより、「まずは健康」という意識がみられるね。	23 ページ
(週1未満または全く行かなかった人限定) なぜスポーツをしなかったのかな？ ※単一回答	飛びぬけて多いのが「仕事や家事が忙しいから」(41%)。忙しい中でもスポーツができる環境づくりが必要だね。	24 ページ
('スポーツが嫌い'と答えた人限定) なぜスポーツが嫌いなの？ ※単一回答	「特に理由はない」(32%)が一番多いけど、「疲れる」(16%)、「時間を取られる」(14%)、「苦手」(12%)という意識もみられるよ。	26 ページ
スポーツはどこで行ったのかな？	1位の「道路」(33%)、2位の「自宅」(22%)、4位の「公園」(18%)など、スポーツに特化していない場所が中心だよ。	27 ページ
クラブやチームには入っているのかな？	84%の人が入っていないよ。気軽なスタイルが中心ということだね。	28 ページ
過去1年間にたくさんの人がやりはじめた人気上昇中のスポーツってあるのかな？	コレ！というものはないけど、トップ3は「ウォーキング」(10%)、「トレーニング」(5%)、「ヨガ等」(3%)だよ。	29 ページ

みんなが「はじめてみたい!」と思っているスポーツって何かな?	トップ3は「ウォーキング」(16%)、「ヨガ等」(14%)、「トレーニング」(13%)だよ。やりはじめたスポーツと顔ぶれが一緒だね。	30 ページ
過去1年間に瀬戸市の人たちが現地で観たスポーツって何かな?	ダントツ人気は「プロ野球」(19%)。約5人に1人が現地に観に行っているよ。ただ「見なかった」も6割にのぼるよ。	32 ページ
(観に行った人限定) どんな理由で観に行ったの?	飛びぬけて多いのは「そのスポーツが好きだから」(58%)だよ。応援しているチームや選手がいることも重要だね。	34 ページ
じゃあTVやWebで観るスポーツだと何が人気なの?	トップ3は「プロ野球」(65%)、「高校野球」(44%)、「サッカー日本代表」(42%)だよ。野球がすごく人気だね。	35 ページ
(TV・Web観戦をした人限定) TVやWebで観た理由は何かな?	飛びぬけて多いのが「そのスポーツが好きだから」(67%)だよ。「なんとなく」「暇つぶし」で観ている人も多いね。	36 ページ
過去1年間に瀬戸市の人たちはスポーツボランティア(「教える」「支える」)をどれくらいしたのかな?	年1回以上した人が11%。全国平均(10%)よりわずかに高い値だよ。	37 ページ
(年1回以上行った人限定) どんなスポーツボランティアをしたのかな?	「関係するクラブの手伝い」(35%)、「運動・スポーツの指導」(33%)が比較的多いね。こうしたスポーツへの関わり方も大切だね。	39 ページ
「する」スポーツは一旦横に置いて、瀬戸市の人たちのメインの趣味・娯楽は何かな? ※単一回答	一番多いのは「テレビ鑑賞」(18%)。家で行う趣味・娯楽が中心だけど、「スポーツ観戦(現地で)」(8%)も人気だね。	40 ページ
「する」スポーツも含めて、重要だと感じている趣味・娯楽は何だろう? ※最大3つまで回答	「スポーツ実施」(23%)が一番多いという結果だったよ。「する」スポーツは大切な文化として根付いているといえるね。	41 ページ
じゃあ今後行ってみたいと考えている趣味・娯楽は? ※最大3つまで回答	一番多いのは「旅行・観光」(24%)。「スポーツ実施」(16%)や「スポーツ観戦」(10%)も人気だよ。家の外に出て行うものが上位を占めているね。	42 ページ

皆が知っている瀬戸市内の公共スポーツ施設は何か？	「市民公園プール」(76%)と「瀬戸市体育館」(75%)の2つが飛び抜けて多いよ。「南ヶ丘」の認知度はアップしたいね。	43 ページ
その中で使用したことがある施設は？	同じく「瀬戸市体育館」(43%)と「市民公園プール」(37%)が親しまれているみたいだね。市民公園以外にある施設の多くは10%を切っているね。	44 ページ
スポーツをする際に必要な情報はどこから得ているのかな？	一番多いのは「口コミ・知り合い」(53%)。その他、「SNS」や「テレビ」に加え「広報せと」(24%)も役立っているようだよ。	45 ページ
どういった情報が不足していて不便を感じているのかな？	多いほうから順に「施設の場所」(39%)、「施設の内容」(32%)、「施設の用具や道具」(18%)だよ。施設に関する情報が特に不足しているようだね。	46 ページ
公共スポーツ施設に対して改善を望むことってあるのかな？	一番多いのは「利用手続きの簡略化」(33%)。その一方で「特に改善を望むことはない」(21%)という声もあるよ。	47 ページ
市が行っているスポーツ事業ってどのくらいの人知っているのかな？	1位「瀬戸駅伝」(36%)、2位「市町村駅伝」(25%)と、駅伝の認知度が比較的高いよ。一方で認知度10%を切る事業も多いよ。	48 ページ
実際に参加・利用したことがある市のスポーツ事業って何か？	トップ3は「パーティセとフィットネスクラブ」(6%)、「市民スポーツ大会」(5%)、「学校体育施設解放」(4%)だよ。その他の事業も含め参加率をどんどん高めていきたいね。	49 ページ
市の取り組みに対して、どんな要望があるのかな？	多いほうから順に「イベント開催」(22%)、「年齢層にあったスポーツの普及」(21%)、「施設の整備」(20%)だよ。身近な「する」スポーツの環境整備を求める声が多いね。	50 ページ

I. 調査概要

1. 調査目的

本調査は、瀬戸市民の皆さまが運動やスポーツ活動を日常生活にどのように取り入れているか、また、どのような障害や課題が習慣化を妨げているのかを明らかにすることを目的としています。究極的には、本調査の結果をもとに市が新たなスポーツ政策を展開し、市内のスポーツ環境を改善することで、市民の皆さまのより豊かなスポーツライフに貢献することを目指します。

2. 調査項目

次の表の通り、プロフィールに関する 4 項目の質問に続いて、6 つの区分のもとスポーツに関する 26 項目の質問を設けました。

プロフィール	基本情報
	地域との関係
	健康状態
	過去のスポーツ経験
「する」スポーツ	行った日数（過去 1 年間）
	行ったスポーツ（過去 1 年間）
	週 1 以上行った理由
	週 1 以上行えなかった理由
	スポーツが嫌いな理由
	行った場所
	クラブ・チームへの加入状況
	初めて（または久しぶりに）行ったスポーツ（過去 1 年間）
	はじめてみたいスポーツ
「みる」スポーツ	現地で観たスポーツ（過去 1 年間）
	現地で観た理由
	TV や Web で観たスポーツ（過去 1 年間）
	TV や Web で観た理由
「支える」スポーツ	スポーツボランティアを行った日数（過去 1 年間）
	行ったスポーツボランティア
趣味・娯楽としてのスポーツの位置	スポーツを行う以外の趣味・娯楽
	現在重要な趣味・娯楽
	今後行ってみたい趣味・娯楽
スポーツを取り巻く環境	知っているスポーツ施設
	利用したことがあるスポーツ施設
	運動・スポーツに関する情報源
	不足している情報
瀬戸市のスポーツ政策	公共スポーツ施設への要望
	市のスポーツ事業の認知度
	市のスポーツ事業への参加状況
	市への要望

3. 調査対象

20歳以上の瀬戸市民の皆さまを対象として、以下の表に示した地域別・年代別の人口比に見合うように、各グループに属する方を無作為に抽出しました。なお、地域（中学校区）の区分は以下の図の通りとなります。

地域別・年代別の人口比

			地域※1						
			にじの丘学区	南山中学校区	水無瀬中学校区	水野中学校区	品野中学校区	幡山中学校区	光陵中学校区
			12.6%	22.5%	14.8%	13.5%	8.4%	19.4%	8.8%
年代※2	20代	12.3%	1.6%	2.8%	1.8%	1.7%	1.0%	2.4%	1.1%
	30代	13.7%	1.7%	3.1%	2.0%	1.9%	1.2%	2.7%	1.2%
	40代	18.7%	2.4%	4.2%	2.8%	2.5%	1.6%	3.6%	1.6%
	50代	20.2%	2.5%	4.5%	3.0%	2.7%	1.7%	3.9%	1.8%
	60代	15.9%	2.0%	3.6%	2.3%	2.1%	1.3%	3.1%	1.4%
	70代	19.3%	2.4%	4.3%	2.9%	2.6%	1.6%	3.7%	1.7%

※1：令和3年4月1日時点 ※2 令和5年4月1日時点

地域（中学校区）の区分

にじの丘中	道泉・深川・古瀬戸 ・東明・祖母懐
水無瀬中	陶原・長根
南山中	效範・水南
水野中	水野・西陵
品野中	品野
幡山中	幡山・（菱野）・（山口） ・（本地）・（新郷）
光陵中	原山台・菱野台 ・萩山台・八幡台



2024年1月に、抽出した6,600名を対象に調査を実施しましたが、当初予定していた回答数に達しなかったため、同年9月に4,800名を対象とした追加調査を実施しました（対象者の重複はありません）。

4. 調査方法

インターネット上のフォームに入力していただくかたちで回答を収集しました。対象者には回答フォームの URL と QR コードを記載したハガキを郵送し、約3週間を期限として回答を求めました。

5. 回収数

2回の調査の結果、回答の有効回収数および回答率は次の表の通りでした。

	第1回	第2回
時期	2024年1月	2024年9月
配布数	6600	4800
有効回収数	946	449
回収率	14%	9%

合計	1393
----	------

この1393名のうち、地域または年齢が「不明・無回答」であった115名を除く1278名の地域別・年代別の回収数は次の表の通りです。

			地域						
			にじの丘学区	南山中学校区	水無瀬中学校区	水野中学校区	品野中学校区	幡山中学校区	光陵中学校区
			173	201	324	207	88	199	86
年代	20代	103	15	20	23	10	10	17	8
	30代	183	26	26	48	24	16	32	11
	40代	270	31	45	63	55	15	42	19
	50代	285	43	41	79	53	12	43	14
	60代	249	35	42	65	39	17	33	18
	70代	188	23	27	46	26	18	32	16

6. 報告書の見方

この報告書では、市民の皆さまにも親しんでいただけるよう、スポーツに関する26項目の結果のすべてにQ&Aを設けています。一つの読み方として、1～3ページのQ&A早見表をご覧ください、興味を持ったページに飛んでいただくことをおすすめします。

また本報告書では、次の表の通り、質問の選択肢の表記を一部省略しています。

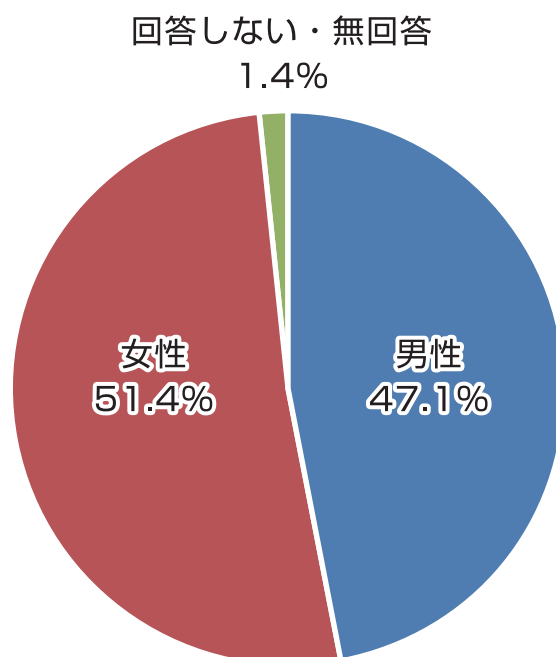
区分	アンケートにおける表記	本報告書における省略表記
「する」 スポーツ	ウォーキング（散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む）	ウォーキング
	階段昇降（2アップ3ダウン等）	階段昇降
	ランニング（ジョギング）・マラソン・駅伝	ランニング等
	自転車（BMX含む）・サイクリング	サイクリング等
	スケートボード・ローラースケート・インラインスケート・一輪車	スケートボード等
	トレーニング（筋力トレーニング・トレッドミル［ランニングマシン］・エアロバイク・室内運動器具を使ってする運動等）	トレーニング
	体操（ラジオ体操・職場体操・美容体操等）	体操
	エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス	ヨガ等
	縄跳び・ダブルダッチ	縄跳び等
	器械体操・新体操・トランポリン	器械体操等
	ダンス（ブレイキン［ブレイクダンス］・フォークダンス・ジャズダンス・社交ダンス・民謡踊り・フラダンス等）	ダンス
	チアリーディング・バトントワリング	チアリーディング等
	水泳（競泳・水球・飛び込み・アーティスティックスイミング・オープンウォータースイミング等）	水泳
	アクアエクササイズ・水中ウォーキング	水中ウォーキング等
	野球（硬式・軟式等）	野球（硬式・軟式）
	卓球（ラージボール含む）	卓球
	ゴルフ（コースでのラウンド）	ゴルフ（コース）
	ゴルフ（練習場・シミュレーションゴルフ）	ゴルフ（練習場）
	グラウンドゴルフ・パークゴルフ・マレットゴルフ・スナッグゴルフ・ディस्कゴルフ・パターゴルフ等	グラウンドゴルフ等
	バレーボール・ビーチバレー・ソフトバレーボール	バレーボール等
	バスケットボール・3×3・ポートボール	バスケットボール等
	ラグビー・アメリカンフットボール・タグラグビー	ラグビー等
	グラウンドホッケー・ラクロス	グラウンドホッケー等
	レスリング・相撲・ボクシング	レスリング・相撲等
	テコンドー・太極拳・合気道	テコンドー等
	剣道・居合道・なぎなた・銃剣道	剣道等
	登山・トレッキング・トレイルランニング・ロッククライミング	登山等

区分	アンケートにおける表記	本報告書における省略表記
「する」スポーツ	フリークライミング（ボルダリング・リードクライミング・スピードクライミング等）	フリークライミング
	キャンプ・オートキャンプ	キャンプ等
	ハイキング・ワンダーフォーゲル・オリエンテーリング	ハイキング等
	ボート・漕艇・カヌー・カヤック・ラフティング	ボート等
	ヨット・水上スキー・ウェイクボード・水上バイク・ジェットスキー	ヨット等
	スクーバダイビング・スキンドайビング・フリーダイビング・シュノーケリング	ダイビング等
	サーフィン・ボディボード・ボードセーリング・ウインドサーフィン	サーフィン等
	クロスカントリースキー・スノーシュー	スノーシュー等
	アイススケート・アイスホッケー・カーリング	アイススケート等
	アーチェリー・弓道・射撃・クレ射撃	弓道等
	グライダー・ハンググライダー・パラグライダー・スカイダイビング	グライダー等
	レクリエーションスポーツ（ティーボール・フライングディスク・インディアカ・スポーツチャンバラ・ユニカール・アルティメット・キンボール・シャフルボード・ペタンク・綱引き・ダーツ・スポーツ吹き矢 等）	レクリエーションスポーツ
「みる」スポーツ	プロ野球（NPB、メジャーリーグ含む）	プロ野球（メジャーリーグ含む）
	その他野球、ソフトボール	ソフトボール等
	Jリーグ（J1、J2、J3）	Jリーグ
	ラグビー（トップリーグ、大学・高校ラグビー、海外ラグビー含む）	ラグビー
	アメリカンフットボール（NFL 等含む）	アメリカンフットボール
	バレーボール（Vリーグ、日本代表含む）	バレーボール
	バスケットボール（Bリーグ、NBA 含む）	バスケットボール（Bリーグ、NBA）
	水泳（競泳・水球・飛び込み・アーティスティックスイミング・オープンウォータースイミング等）	水泳
	武道（剣道・柔道・空手）、ボクシング、レスリング	武道、ボクシング等
	自転車競技（競輪を除く）、スケートボード、インラインスケート等	自転車競技（競輪を除く）、スケートボード等
	ヨット、ボート、カヌー、サーフィン等マリンスポーツ（競艇を除く）	ヨット、ボート（競艇を除く）等
	スキー（アルペン、フリースタイル、ジャンプ、クロスカントリー他）、スノーボード	スキー、スノーボード
	フィギュアスケート、スピードスケート、アイスホッケー	フィギュアスケート、スピードスケート等
	障害者スポーツ（車いすバスケットボール、車いすテニス等）	障害者スポーツ
「支える」スポーツ	自身やご家族が所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動（練習や大会での参加者の送迎、参加者の飲料や弁当の準備、活動場所や施設の予約・手配、指導や審判の補助、役員や会計係等、ウェブサイトやチラシの作成、等）	関係するクラブの手伝い（送迎含む）
趣味・娯楽	スポーツ観戦（テレビ・スマートフォン・パソコンなどは除く）	スポーツ観戦（現地で）
	美術鑑賞（テレビ・スマートフォン・パソコンなどは除く）	美術鑑賞（現地で）
	演芸・演劇・舞踊鑑賞（テレビ・スマートフォン・パソコンなどは除く）	演芸・演劇・舞踊鑑賞（現地で）
	テレビゲーム・パソコンゲーム（家庭で行うもの、携帯用を含む）	テレビ・パソコン・スマホゲーム

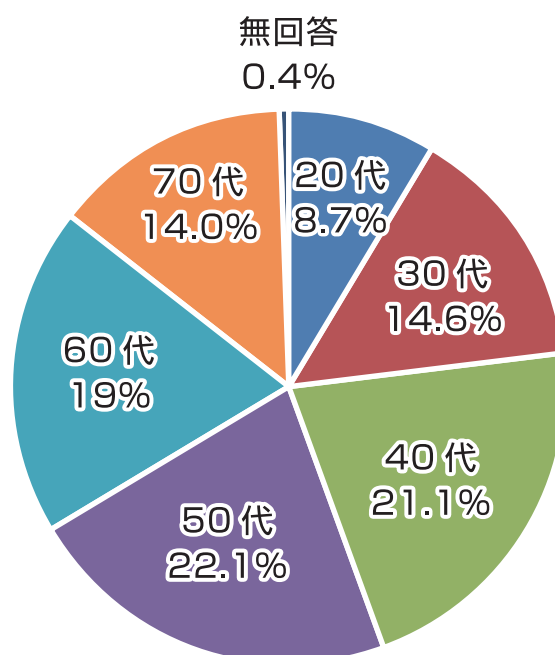
Ⅱ. 回答者のプロフィール

1. 基本情報

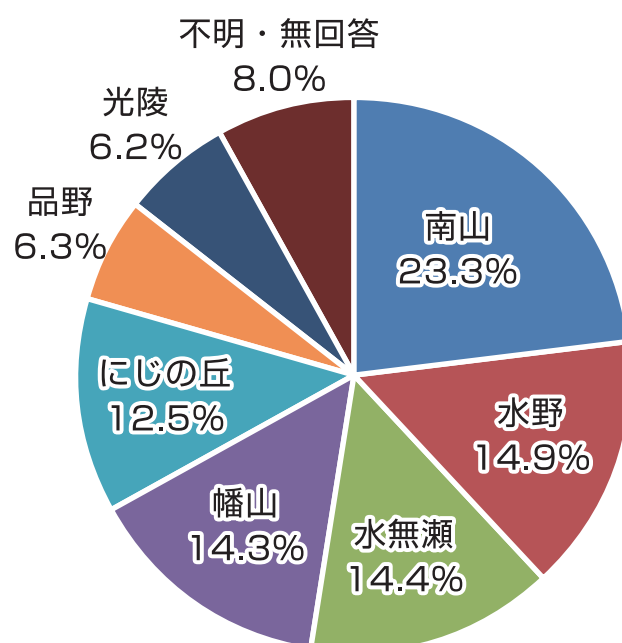
(1) 性別



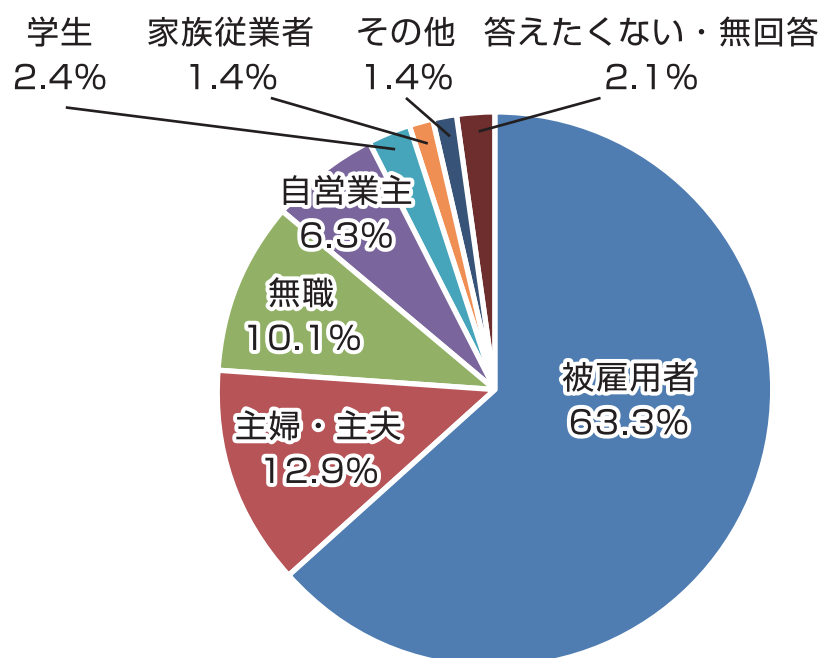
(2) 年代



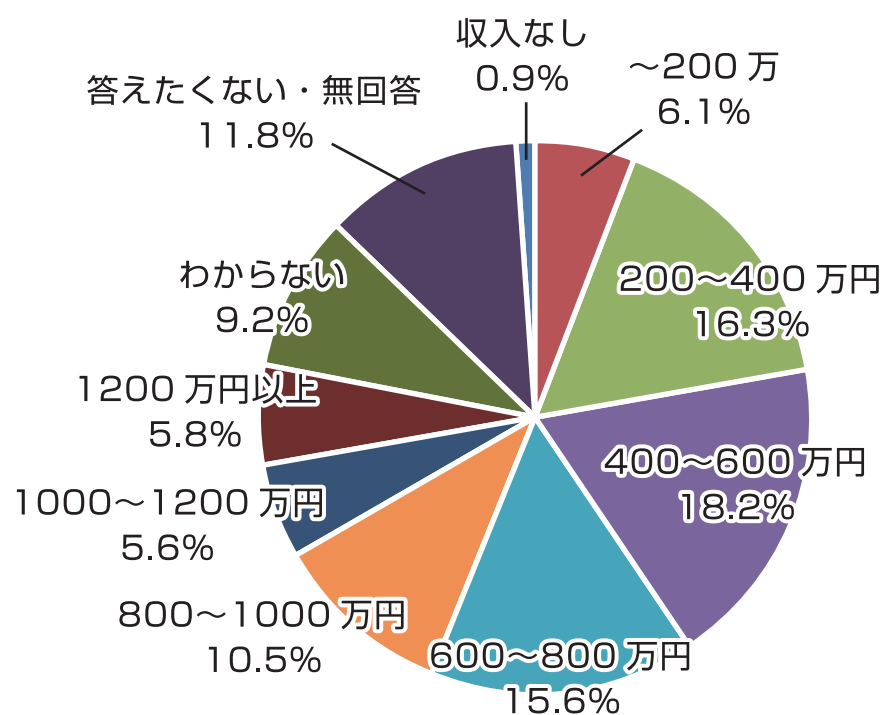
(3) 居住地域



(4) 職業

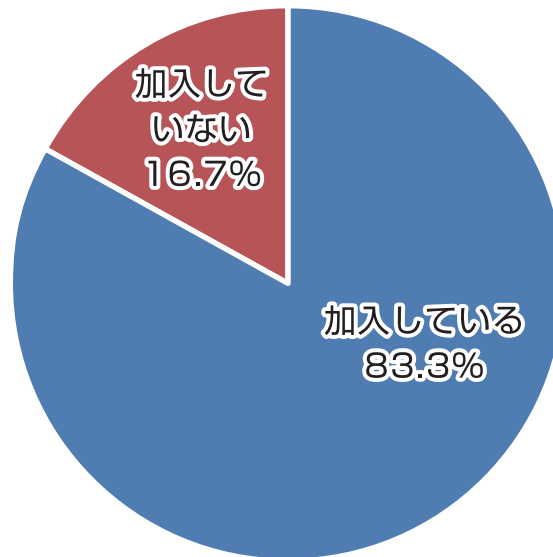


(5) 世帯収入

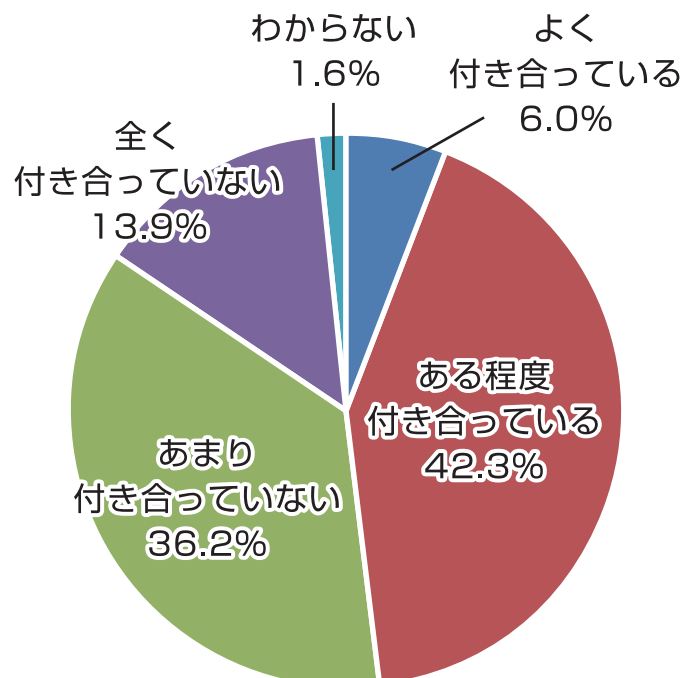


2. 地域との関係

(1) 町内会への加入状況

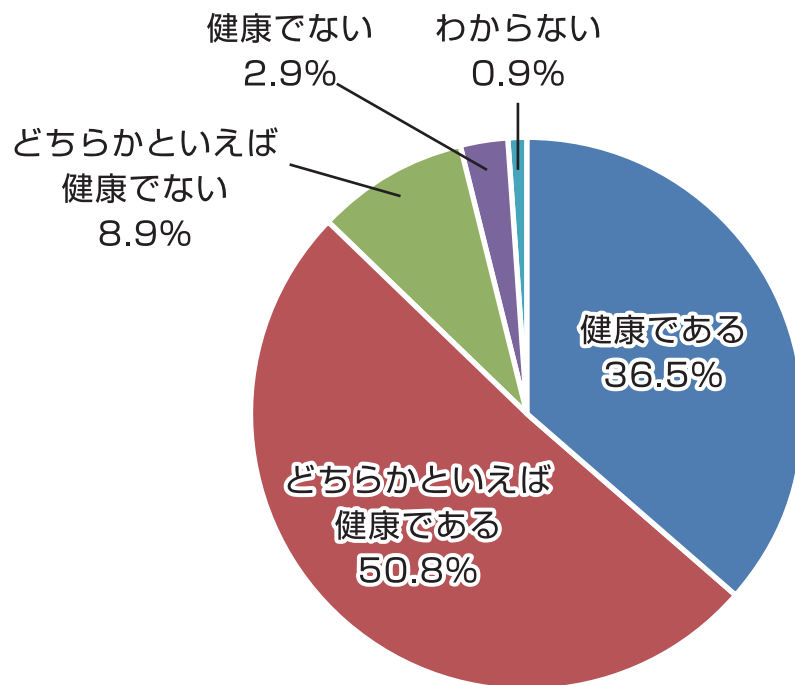


(2) 地域との付き合い

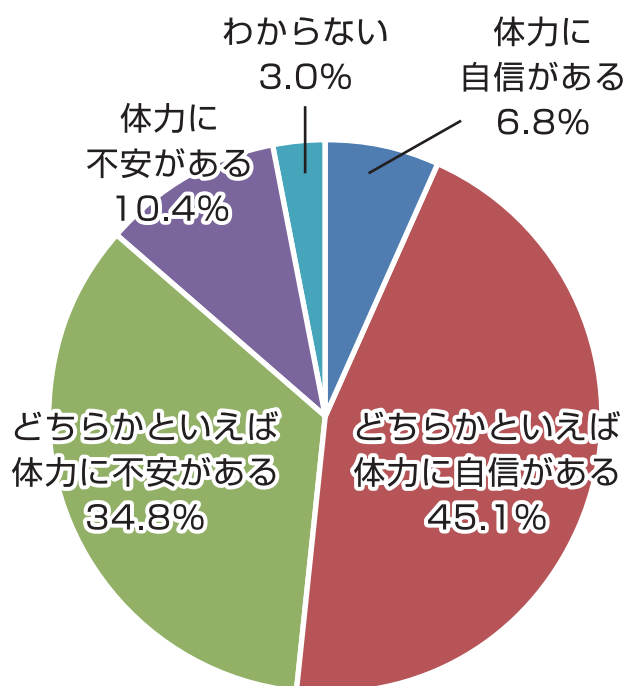


3. 健康状態

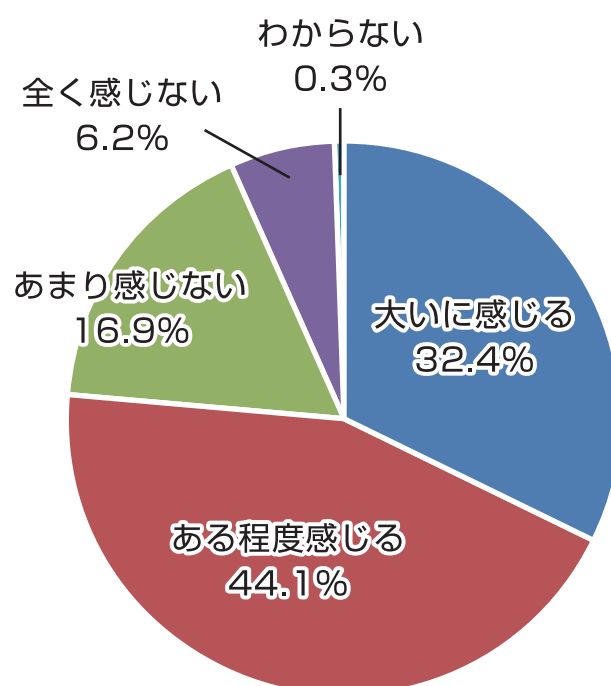
(1) 健康状態の評価



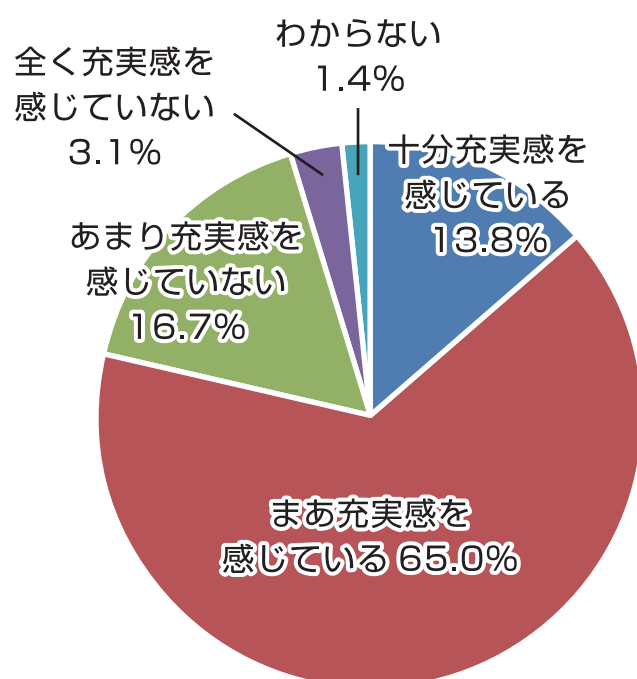
(2) 体力に対する自信



(3) 運動不足の実感

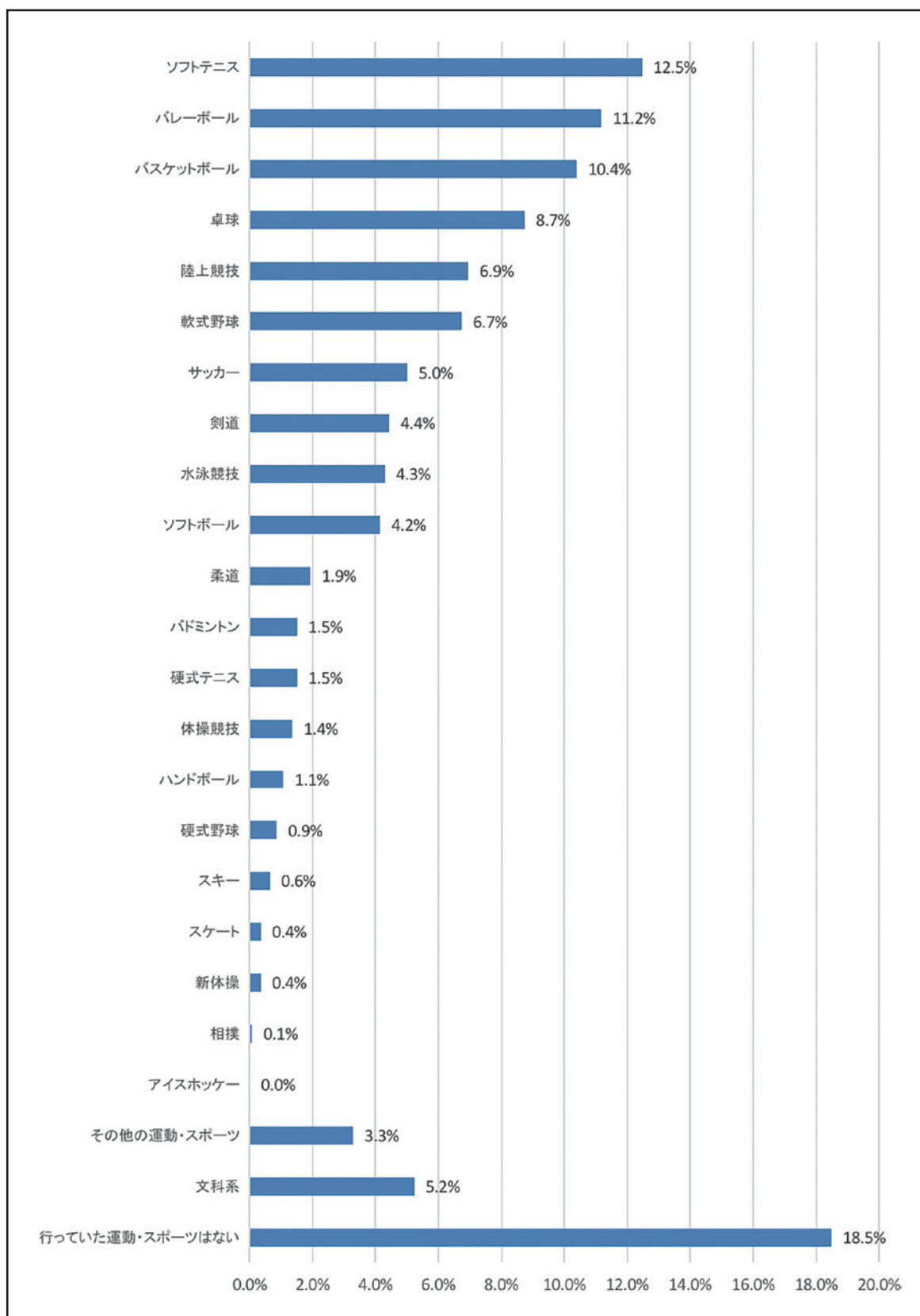


(4) 日常生活の充実度

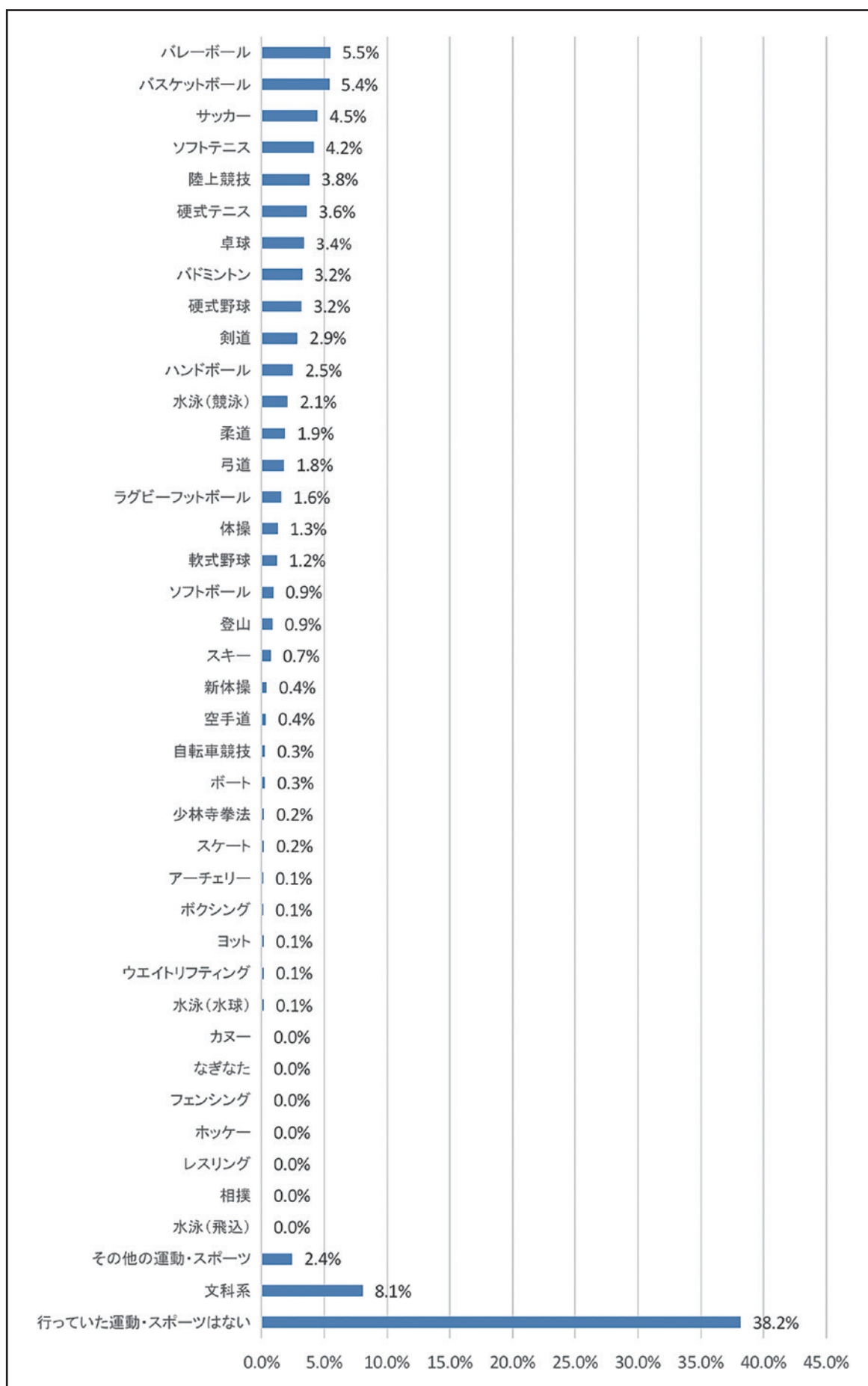


4. 過去のスポーツ経験

(1) 中学時代に行っていたスポーツ



(2) 高校時代に行っていたスポーツ



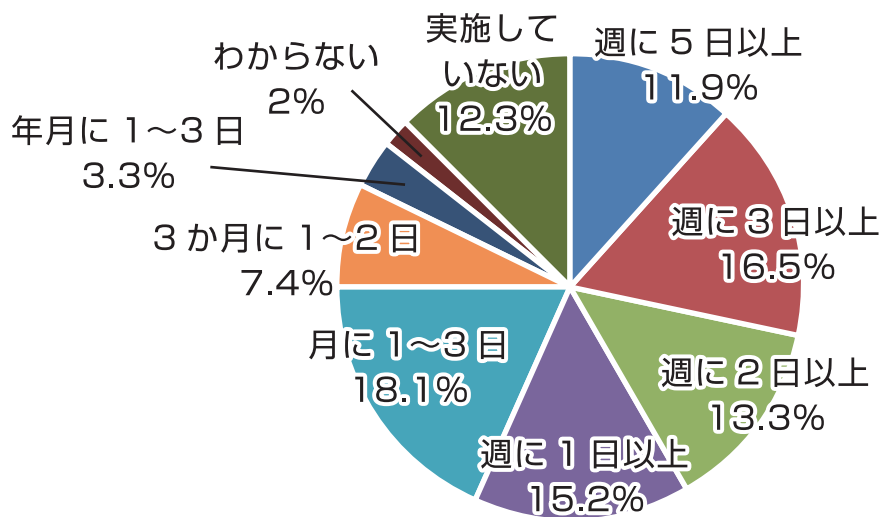
Ⅲ.「する」スポーツ

1. 行った日数

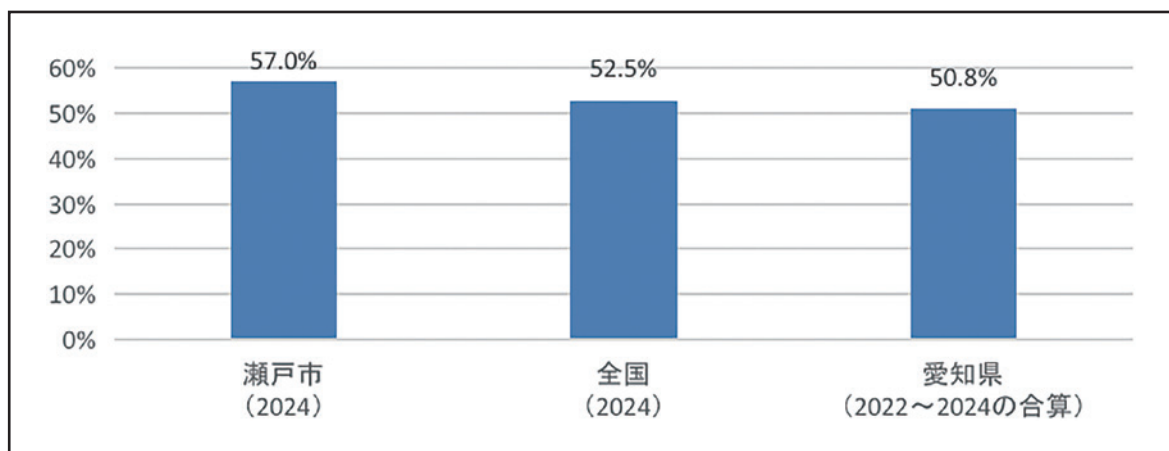


Q 瀬戸市の人たちは過去1年間にどれくらいスポーツをしたのかな？

A 週1回以上した人が57%、全国平均（53%）より高い値だよ。

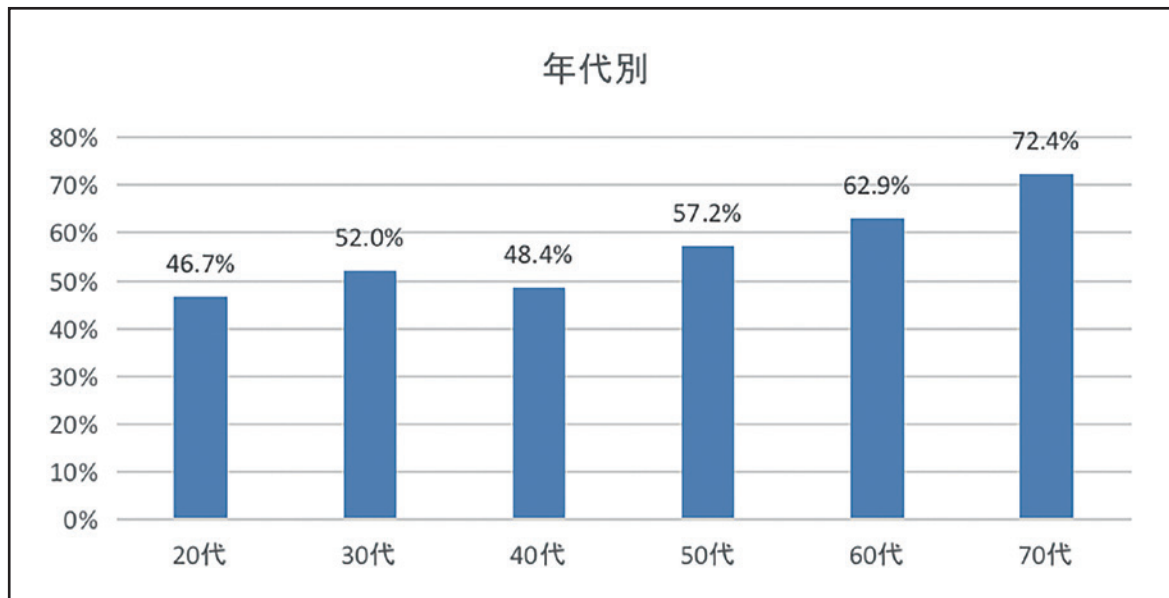
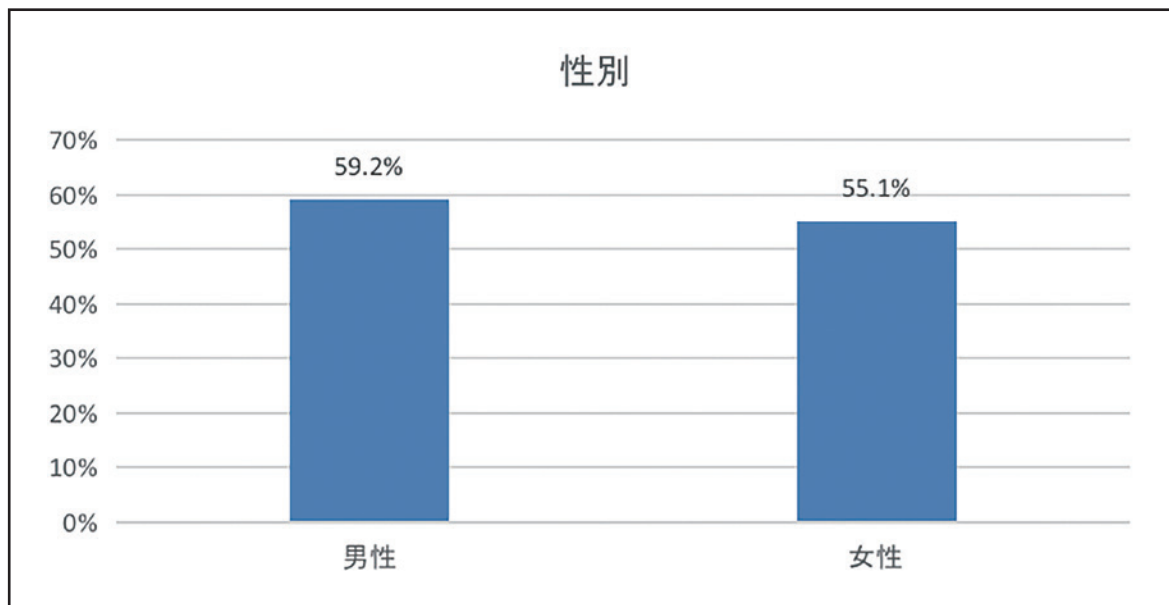


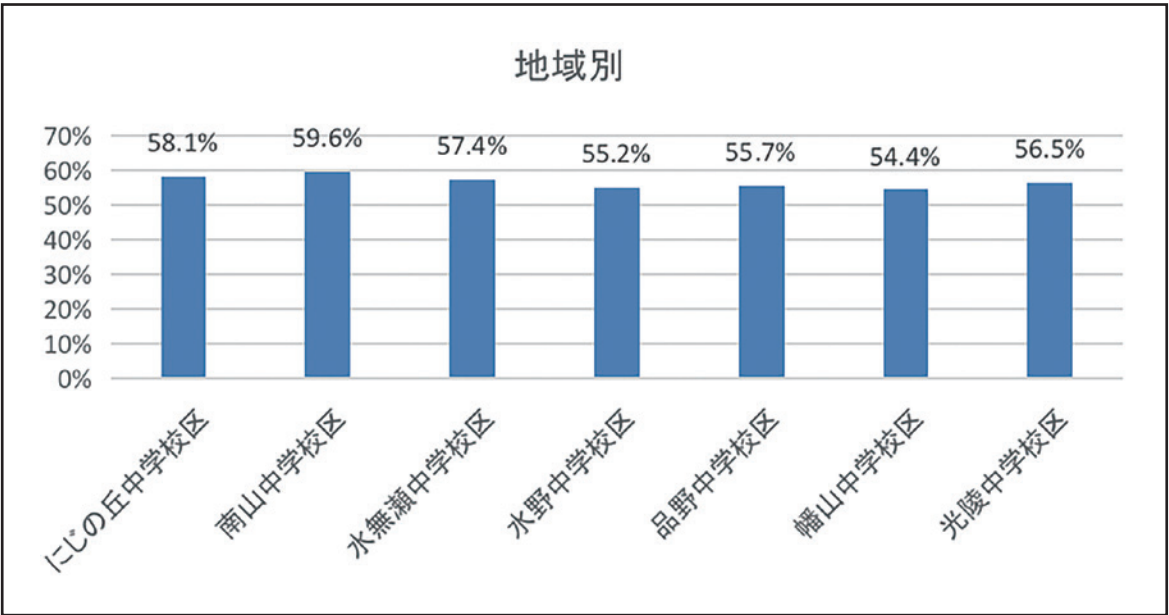
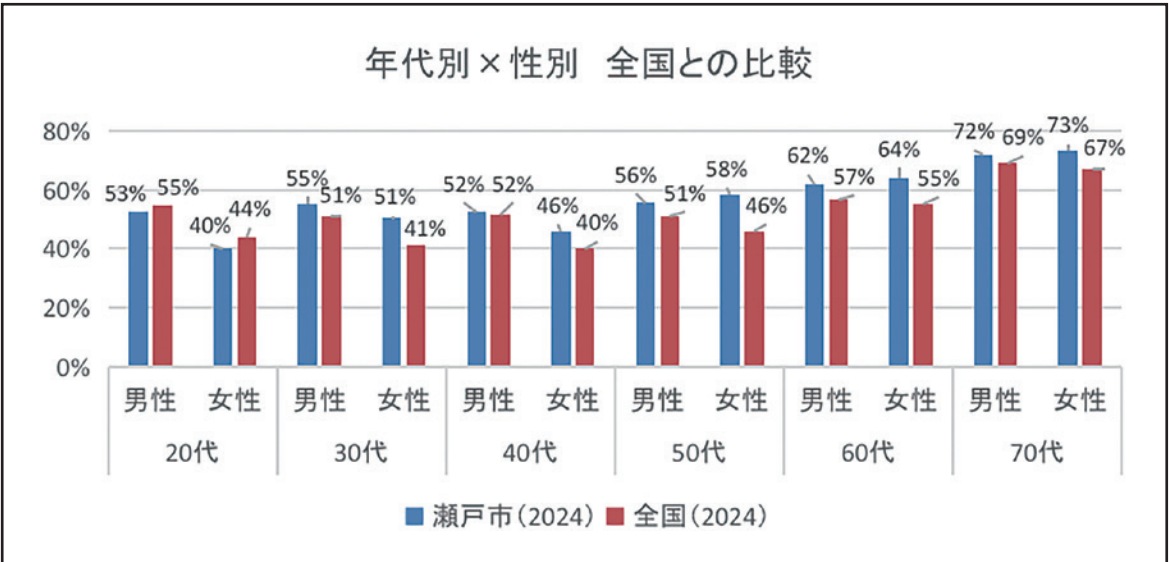
【追加分析①】 全国や愛知県と比較すると…



瀬戸市では比較的たくさんの人たちがスポーツをしているんだね！

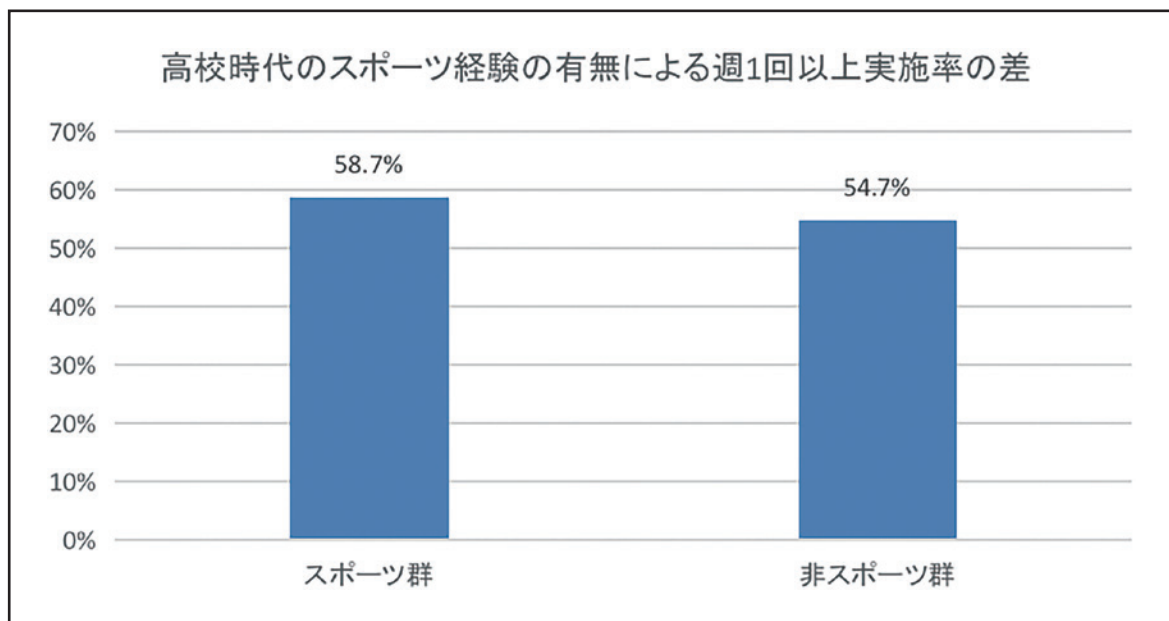
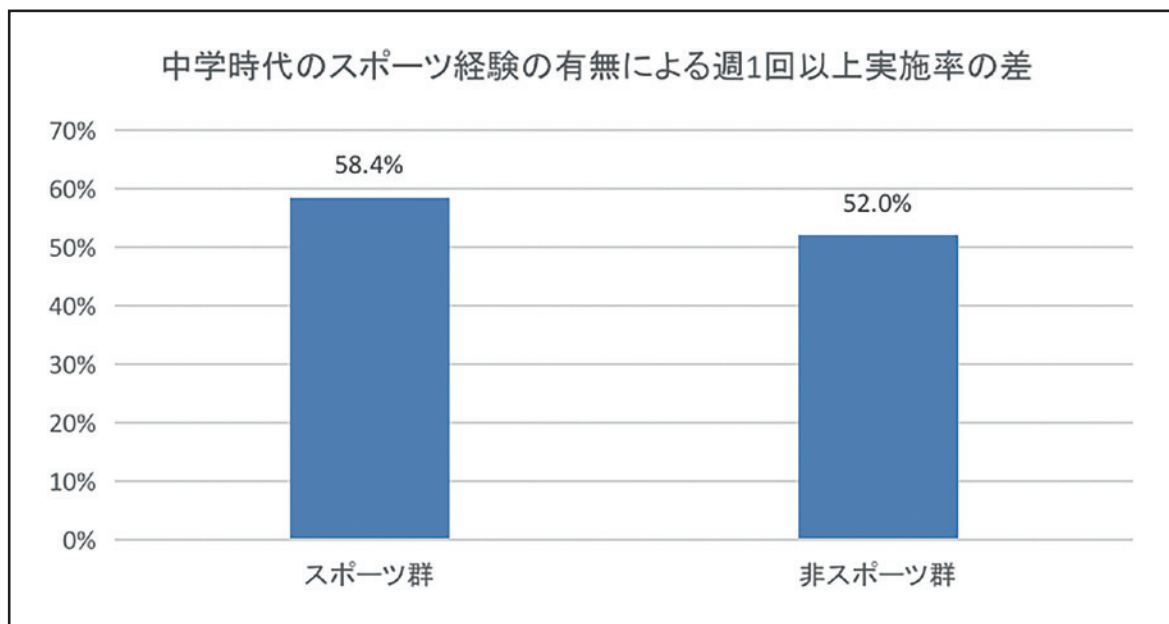
【追加分析②】性別・年代別・地域別にみると…





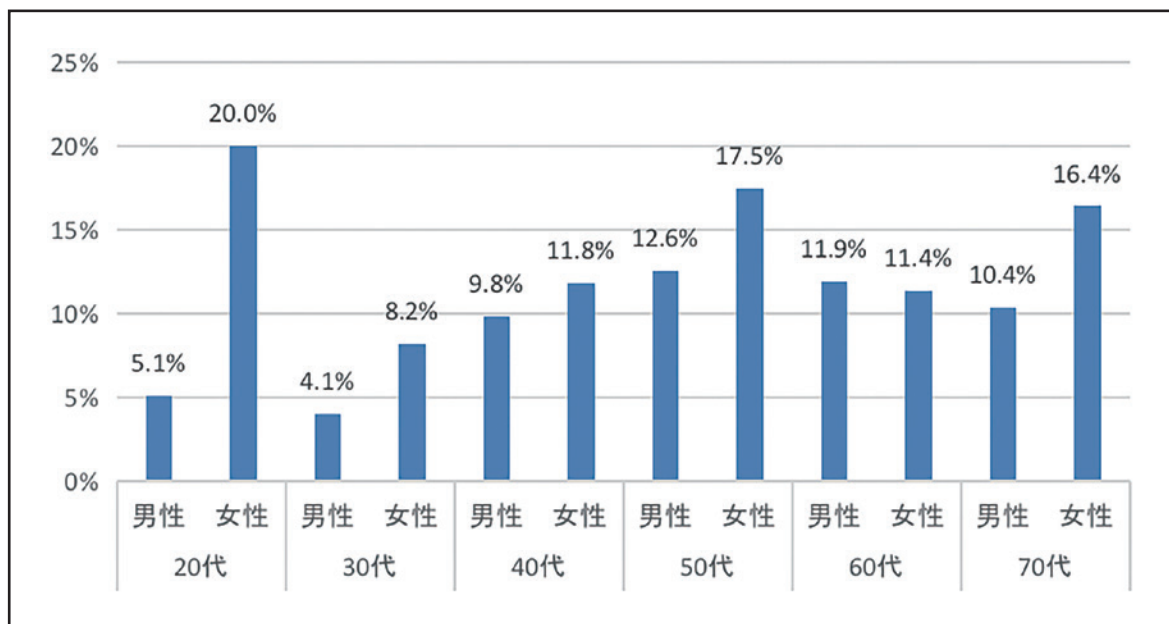
全体では男性がやや高いくらいだけど、年代別でみると20代と40代の女性がガクッと下がっているね。
 全国と比べると多くの年代・性で瀬戸市の方が上回っているよ。
 地域別だと南山が高いね。

【追加分析③】過去のスポーツ経験は実施率に影響する？



中学・高校ともにスポーツ群がやや高い値を示しているね。
特に中学は統計的にも明確な差がみられたよ。

【追加分析④】 過去 1 年間にスポーツを全くしなかった人はどれくらいいる？



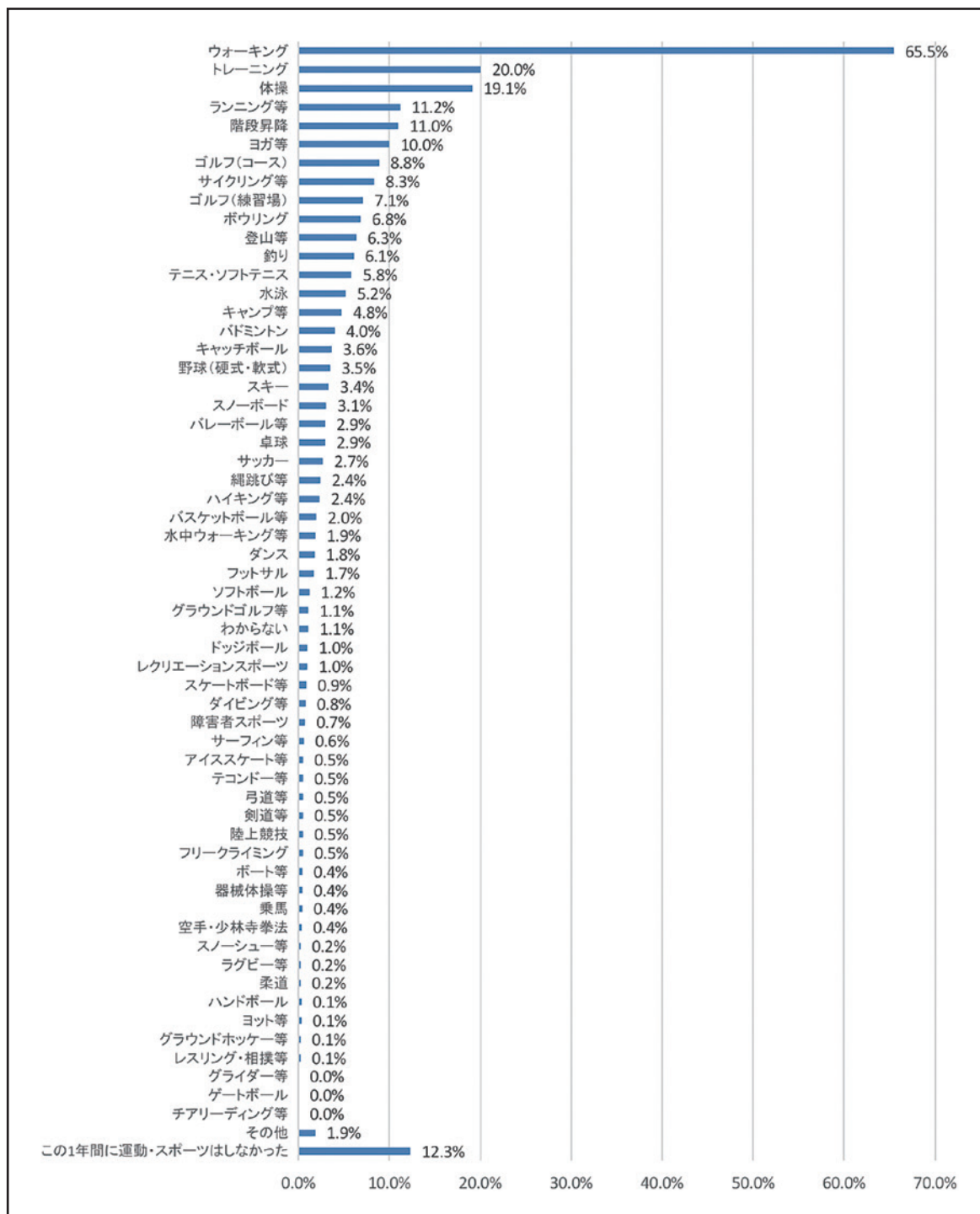
20代、50代、70代の女性が高い値を示しているね。

2. 行ったスポーツ



Q どんなスポーツをしたのかな？

A トップ3は「ウォーキング」(66%)、「トレーニング」(20%)、「体操」(19%) だよ。競技としての「スポーツ」より「運動」の方が人気だね。

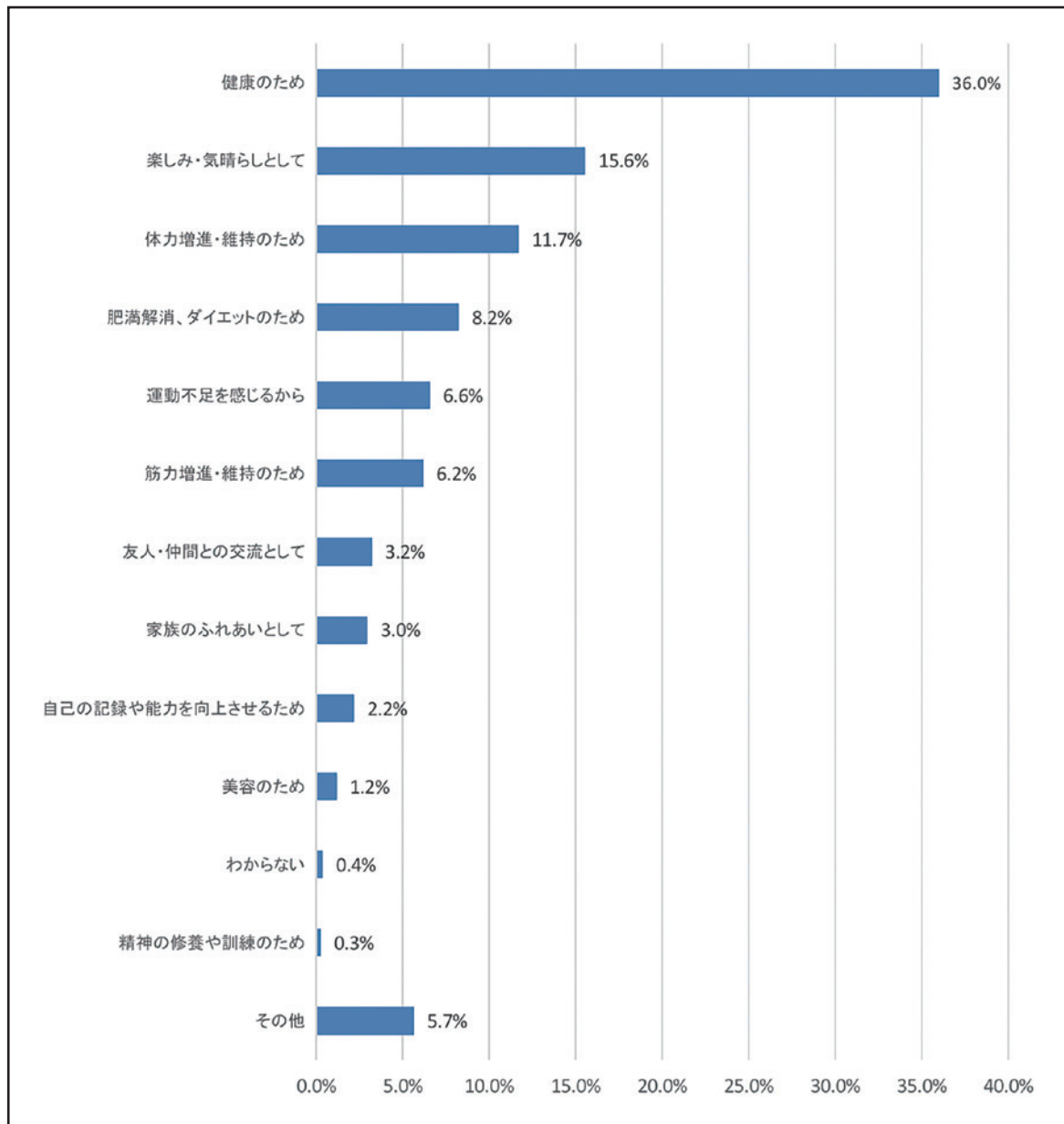


3. 週1以上行った理由



Q (週1以上行った人限定) どんな理由でスポーツをしたのかな？
※単一回答

A 一番多いのは「健康のため」(36%)。記録や精神を高めることより、「まずは健康」という意識がみられるね。

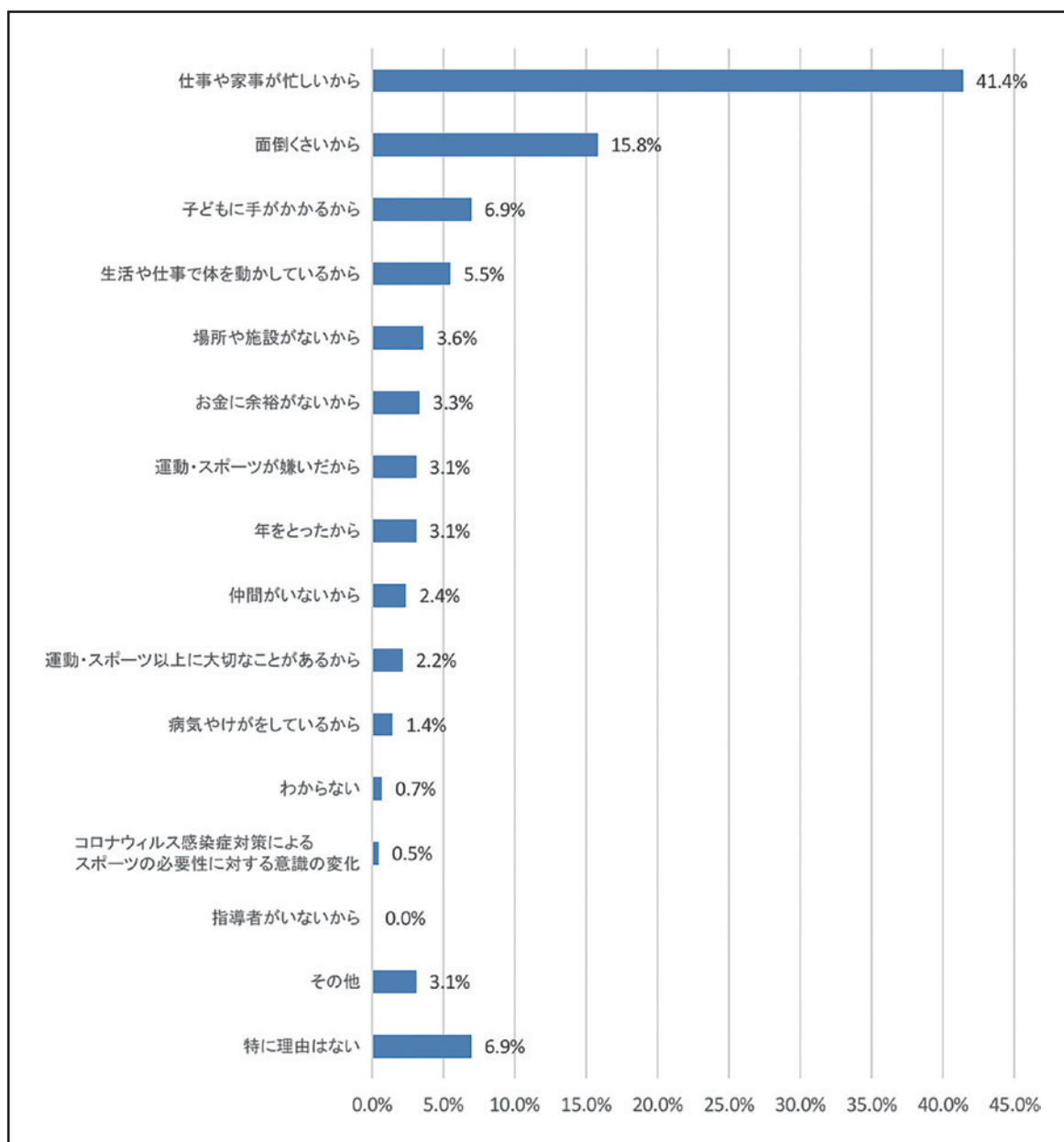


4. 週 1 以上行えなかった理由



Q (週 1 未満または全く行わなかった人限定) なぜスポーツをしなかったのかな? ※単一回答

A 飛びぬけて多いのが「仕事や家事が忙しいから」(41%)。忙しい中でもスポーツができる環境づくりが必要だね。



【追加分析】行えなかった理由の年代別・性別トップ5

	20代				30代			
	男性		女性		男性		女性	
1位	仕事や家事が忙しいから	43%	仕事や家事が忙しいから	30%	仕事や家事が忙しいから	46%	仕事や家事が忙しいから	43%
2位	子どもに手がかるから	14%	面倒くさいから	30%	面倒くさいから	17%	子どもに手がかるから	20%
3位	面倒くさいから	11%	特に理由はない	10%	子どもに手がかるから	9%	面倒くさいから	10%
4位	その他	9%	子どもに手がかるから	7%	運動・スポーツ以上に大切なことがあるから	9%	運動・スポーツが嫌いだから	8%
5位	お金に余裕がないから	6%	仲間がいないから	7%	場所や施設がないから	9%	その他	6%

	40代				50代			
	男性		女性		男性		女性	
1位	仕事や家事が忙しいから	45%	仕事や家事が忙しいから	45%	仕事や家事が忙しいから	45%	仕事や家事が忙しいから	49%
2位	特に理由はない	7%	面倒くさいから	20%	面倒くさいから	20%	面倒くさいから	14%
3位	子どもに手がかるから	5%	子どもに手がかるから	12%	特に理由はない	9%	特に理由はない	9%
4位	面倒くさいから	5%	お金に余裕がないから	5%	その他	7%	生活や仕事で体を動かしているから	7%
5位	場所や施設がないから	5%	運動・スポーツが嫌いだから	4%	場所や施設がないから	7%	その他	6%

	60代				70代			
	男性		女性		男性		女性	
1位	仕事や家事が忙しいから	24%	仕事や家事が忙しいから	38%	年をとったから	24%	仕事や家事が忙しいから	67%
2位	面倒くさいから	15%	生活や仕事で体を動かしているから	16%	生活や仕事で体を動かしているから	19%	子どもに手がかるから	17%
3位	特に理由はない	10%	面倒くさいから	13%	面倒くさいから	19%	面倒くさいから	17%
4位	生活や仕事で体を動かしているから	10%	特に理由はない	13%	特に理由はない	14%		
5位	お金に余裕がないから	10%	年をとったから	6%	仕事や家事が忙しいから	10%		



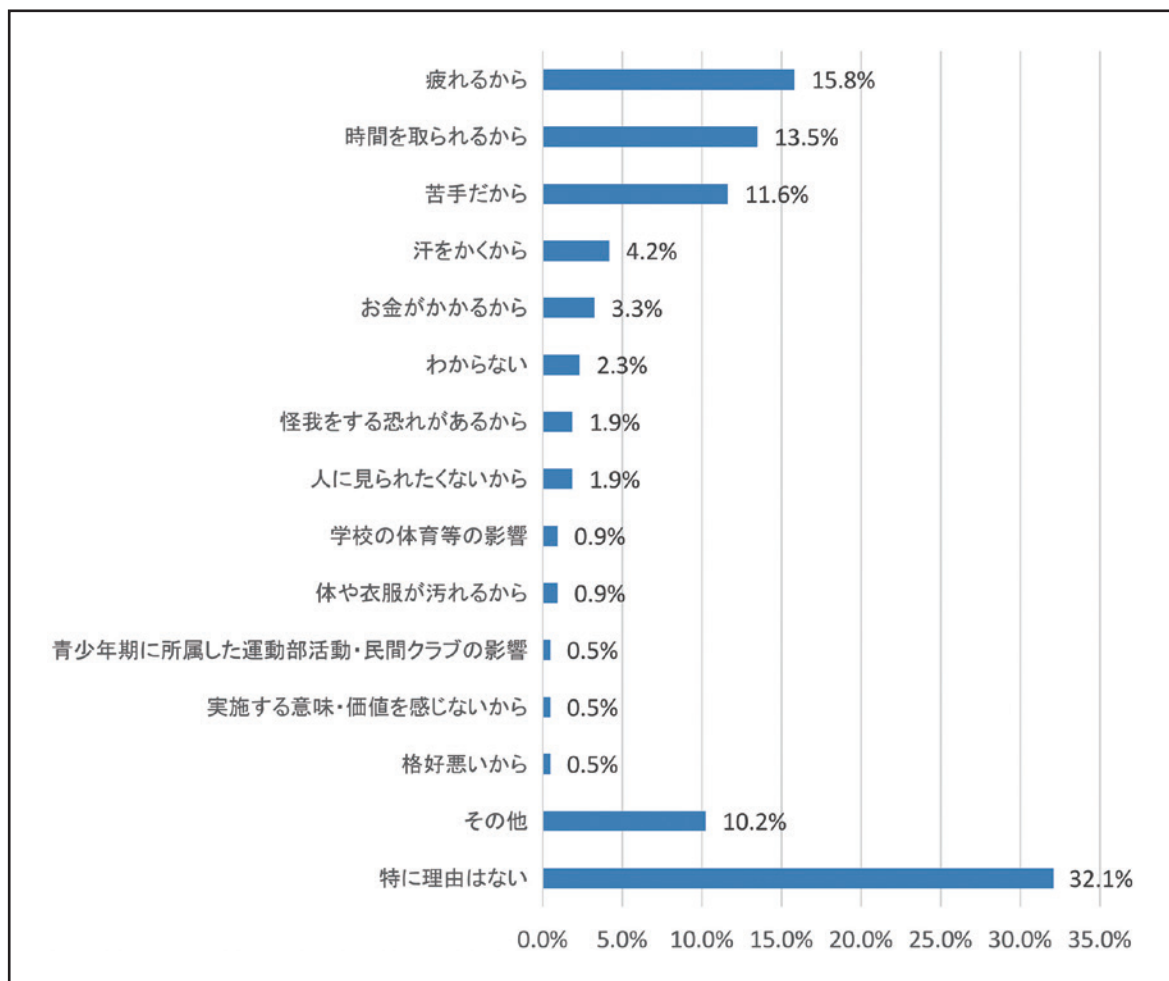
多くの年代で「仕事や家事が忙しいから」がトップにきているね。

5. スポーツが嫌いな理由



Q (「スポーツが嫌い」と答えた人限定) なぜスポーツが嫌いなの?
※単一回答

A 「特に理由はない」(32%) が一番多いけど、「疲れる」(16%)、「時間を取られる」(14%)、「苦手」(12%) という意識もみられるよ。

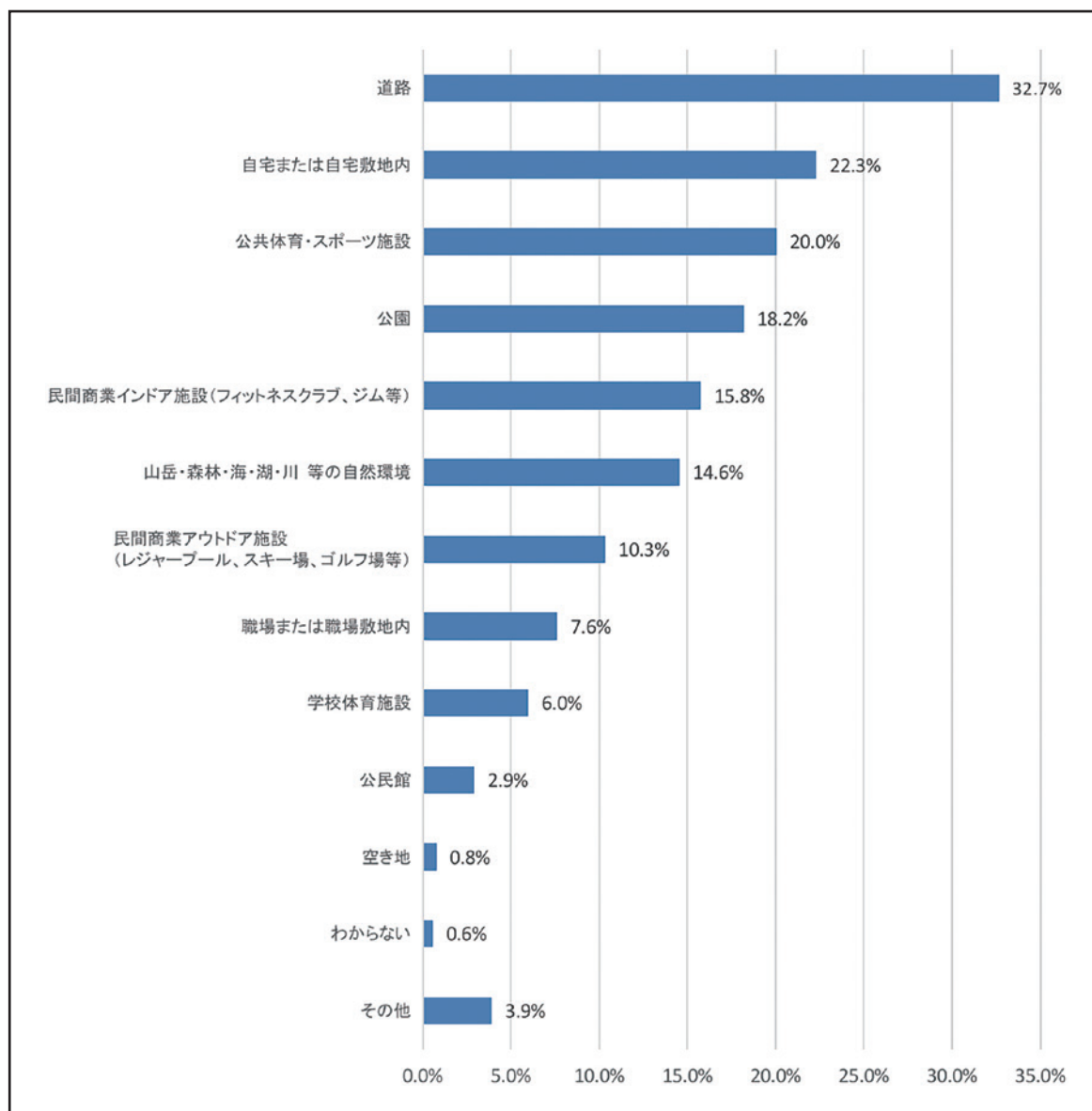


6. 行った場所



Q スポーツはどこで行ったのかな？

A 1位の「道路」(33%)、2位の「自宅」(22%)、4位の「公園」(18%)など、スポーツに特化していない場所が中心だよ。

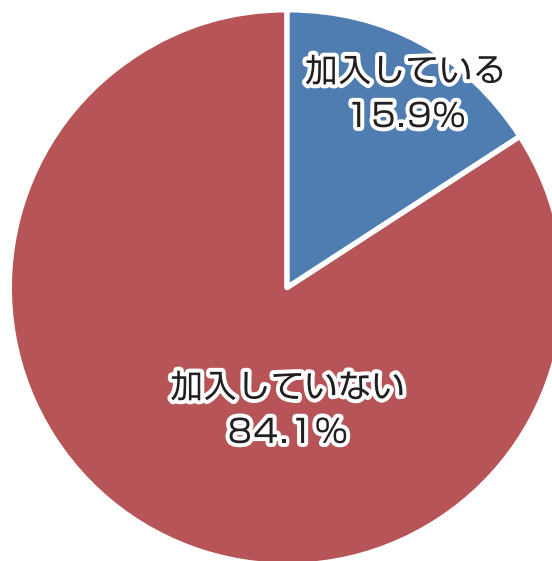


7. クラブ・チームへの加入状況



Q クラブやチームには入っているのかな？

A 84%の人が入っていないよ。気軽なスタイルが中心ということだね。

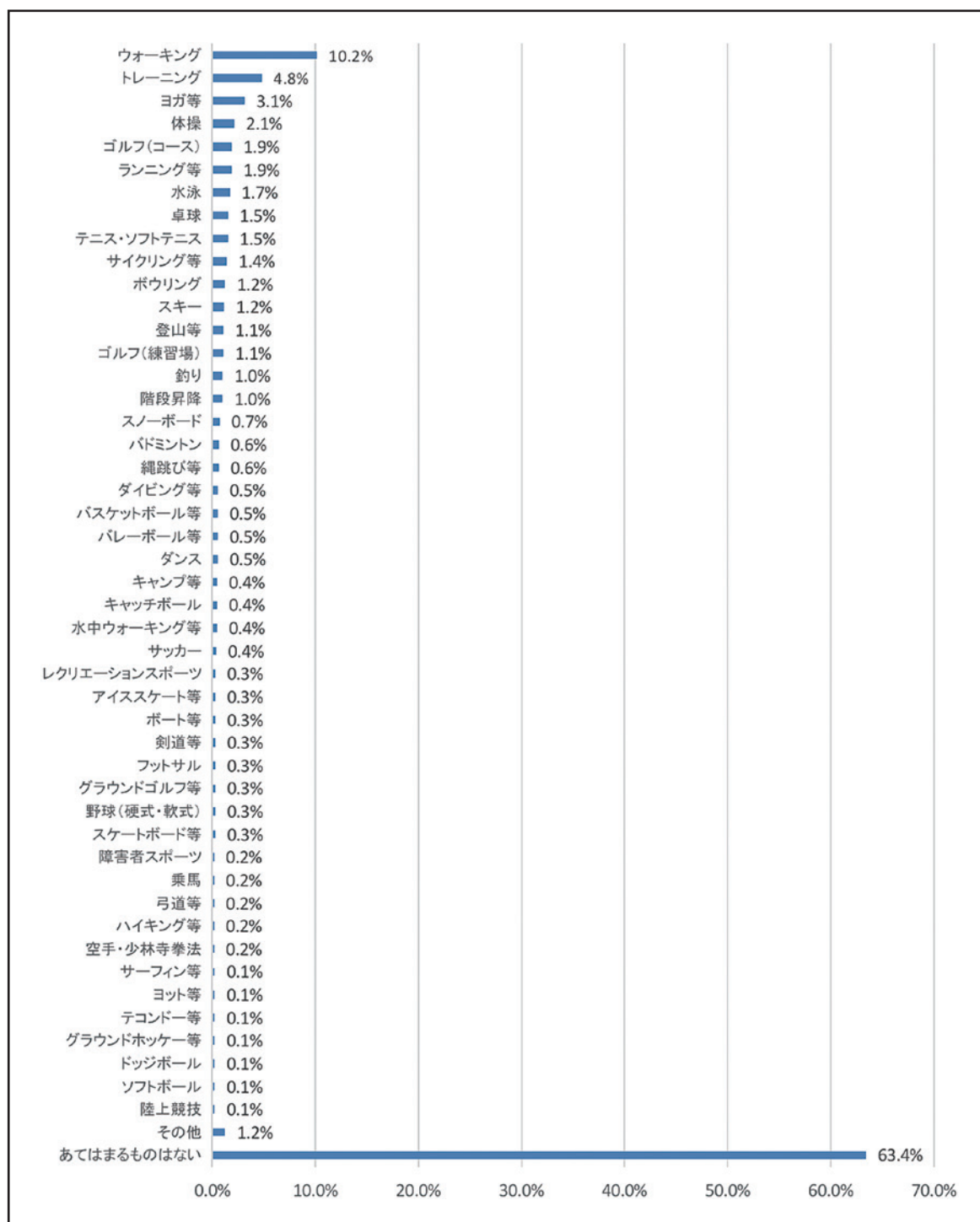


8. 初めて（または久しぶりに）行ったスポーツ



Q 過去1年間にたくさんの人がやりはじめた人気上昇中のスポーツってあるのかな？

A コレ！というものはないけど、トップ3は「ウォーキング」（10%）、「トレーニング」（5%）、「ヨガ等」（3%）だよ。

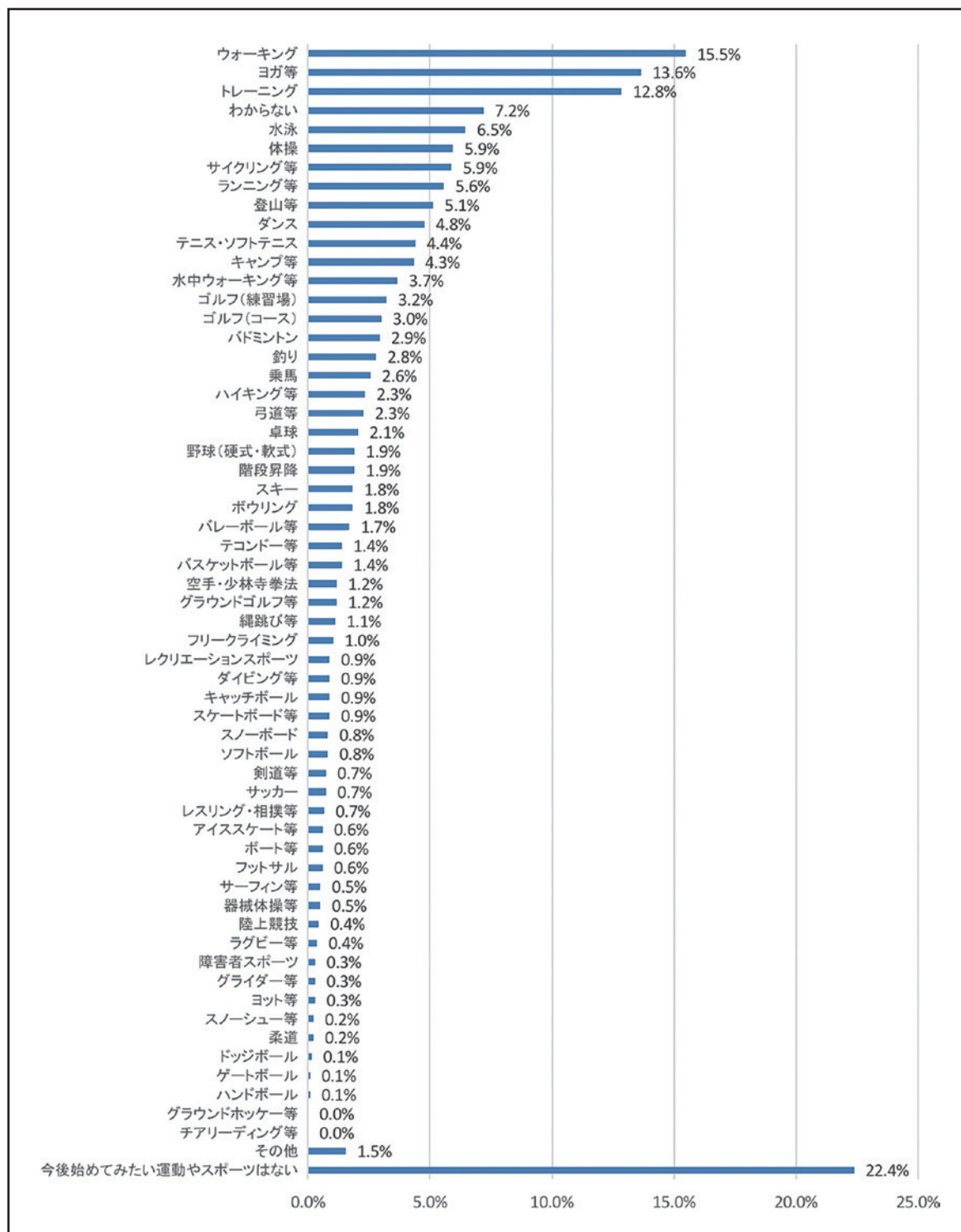


9. 始めてみたいスポーツ



Q みんなが「はじめてみたい！」と思っているスポーツって何かな？

A トップ3は「ウォーキング」（16%）、「ヨガ等」（14%）、「トレーニング」（13%）だよ。やはりはじめたスポーツと顔ぶれが一緒だね。



【追加分析】現在行っていない人限定：始めてみたいスポーツの年代別・性別トップ5

	20 代				30 代			
	男性		女性		男性		女性	
1 位	トレーニング	14%	ウォーキング	38%	トレーニング	21%	ウォーキング	51%
2 位	自転車	11%	エアロビクス	22%	ウォーキング	13%	エアロビクス	21%
3 位	ランニング	10%	トレーニング	17%	キャンプ	13%	トレーニング	20%
4 位	テニス	8%	ランニング	14%	水泳	12%	ランニング	13%
5 位	野球	7%	バレーボール	10%	ランニング	12%	体操	13%

	40 代				50 代			
	男性		女性		男性		女性	
1 位	ウォーキング	23%	ウォーキング	57%	ウォーキング	35%	ウォーキング	68%
2 位	トレーニング	16%	エアロビクス	39%	トレーニング	15%	エアロビクス	34%
3 位	登山	11%	トレーニング	16%	自転車	11%	トレーニング	19%
4 位	自転車	10%	体操	14%	水泳	10%	体操	11%
5 位	ランニング	9%	ダンス	9%	登山	7%	ダンス	8%

	60 代				70 代			
	男性		女性		男性		女性	
1 位	ウォーキング	30%	ウォーキング	57%	ウォーキング	61%	ウォーキング	71%
2 位	トレーニング	13%	エアロビクス	26%	トレーニング	16%	アクアエクササイズ	14%
3 位	自転車	9%	トレーニング	18%	体操	8%	体操	12%
4 位	キャンプ	6%	体操	12%	水泳	7%	トレーニング	11%
5 位	水泳	5%	アクアエクササイズ	9%	釣り	6%	ハイキング	9%



どの年代でも「ウォーキング」が人気だね。多くが「スポーツ」というより「運動」であるといえる中、数少ない「スポーツ」として、20 代男性の「野球」と20 代女性の「バレーボール」があるよ。

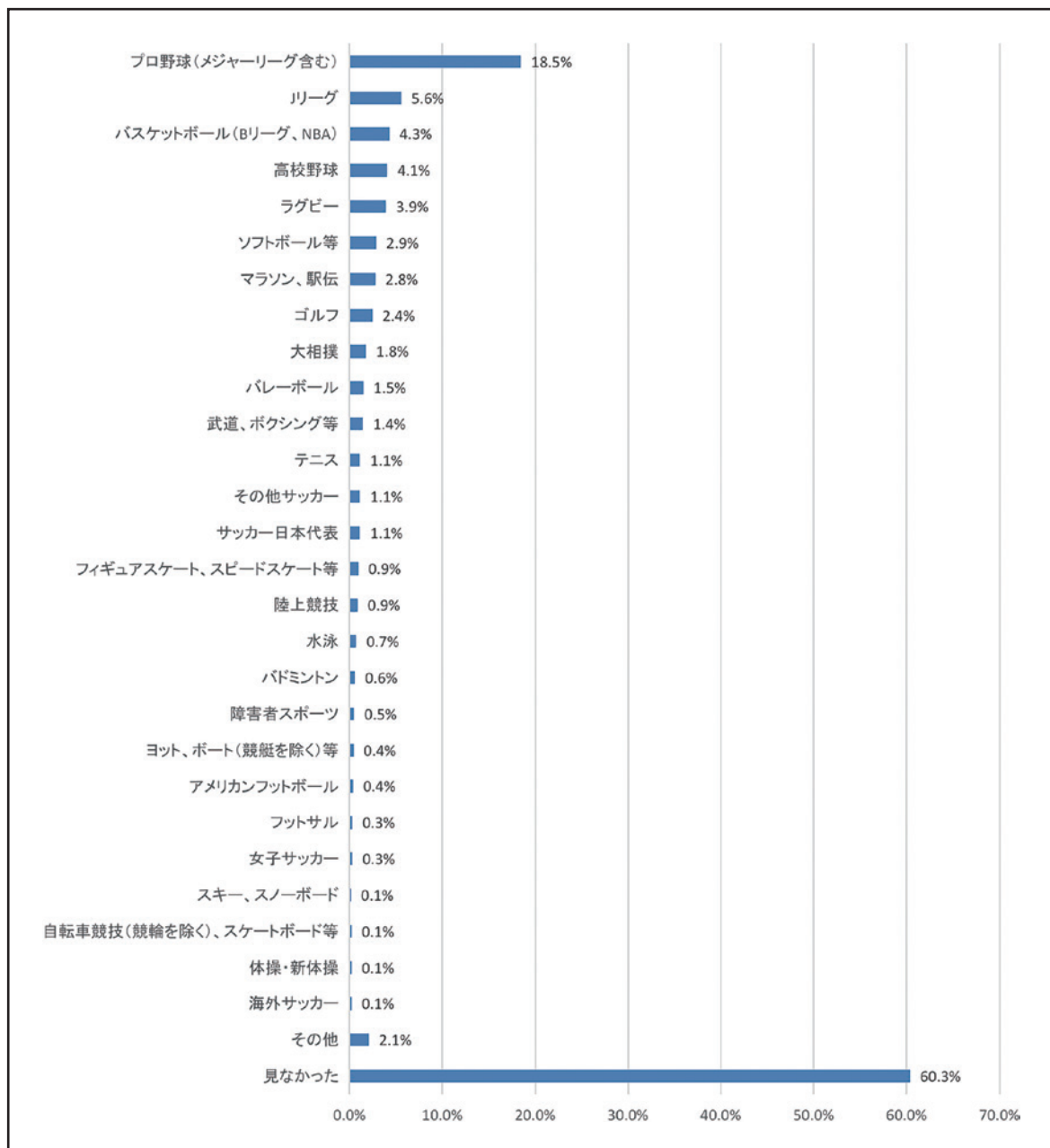
IV.「みる」スポーツ

1. 現地で観たスポーツ

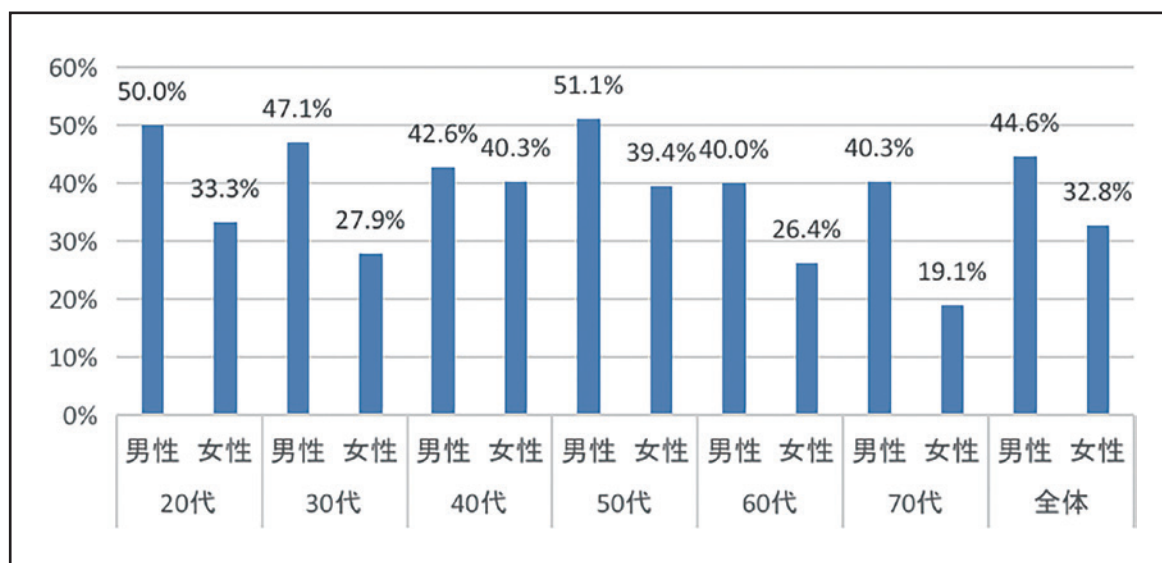


Q 過去1年間に瀬戸市の人たちが現地で観たスポーツって何かな？

A ダントツ人気は「プロ野球」(19%)。約5人に1人が現地に観に行っているよ。ただ「見なかった」も6割にのぼるよ。



【追加分析①】 年一回以上観戦した人を年代別・性別にみると…



どの年代でも女性に比べ男性のほうが観に行っているね。
全体でみると 38%だよ。

【追加分析②】 現地で観たスポーツの年代別・性別トップ 5

	20代				30代			
	男性		女性		男性		女性	
1位	プロ野球	30%	プロ野球	26%	プロ野球	29%	プロ野球	13%
2位	Jリーグ	11%	Jリーグ	5%	Jリーグ	11%	バスケットボール	7%
3位	高校野球	7%	バスケットボール	5%	バスケットボール	7%	Jリーグ	4%
4位	バスケットボール	6%	高校野球	3%	マラソン、駅伝	7%	高校野球	4%
5位	女子サッカー	5%	女子サッカー	3%	高校野球	5%	ラグビー	3%

	40代				50代			
	男性		女性		男性		女性	
1位	プロ野球	23%	プロ野球	15%	プロ野球	24%	プロ野球	16%
2位	Jリーグ	15%	バスケットボール	8%	ラグビー	6%	ラグビー	5%
3位	バスケットボール	6%	Jリーグ	6%	ゴルフ	6%	バスケットボール	5%
4位	その他	6%	その他	5%	バスケットボール	5%	高校野球	4%
5位	高校野球	5%	ラグビー	5%	高校野球	5%	Jリーグ	3%

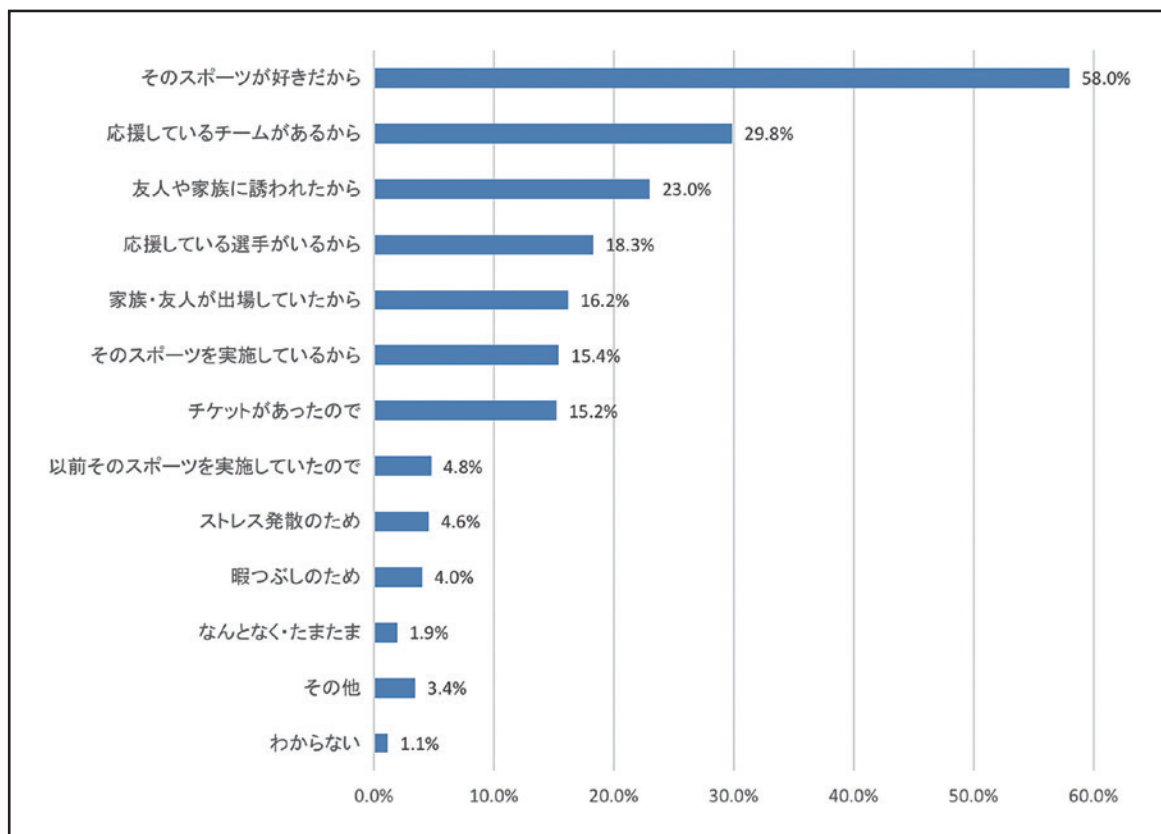
	60代				70代			
	男性		女性		男性		女性	
1位	プロ野球	21%	プロ野球	10%	プロ野球	24%	プロ野球	10%
2位	高校野球	8%	大相撲	4%	大相撲	6%	フィギュアスケート	3%
3位	ゴルフ	7%	Jリーグ	3%	ゴルフ	6%	大相撲	1%
4位	Jリーグ	6%	ラグビー	3%	Jリーグ	3%	ゴルフ	1%
5位	その他野球	6%	フィギュアスケート	3%	ラグビー	3%	ラグビー	1%

2. 現地で観た理由



Q（観に行った人限定）どんな理由で観に行ったの？

A 飛びぬけて多いのは「そのスポーツが好きだから」（58%）だよ。
応援しているチームや選手がいることも重要だね。

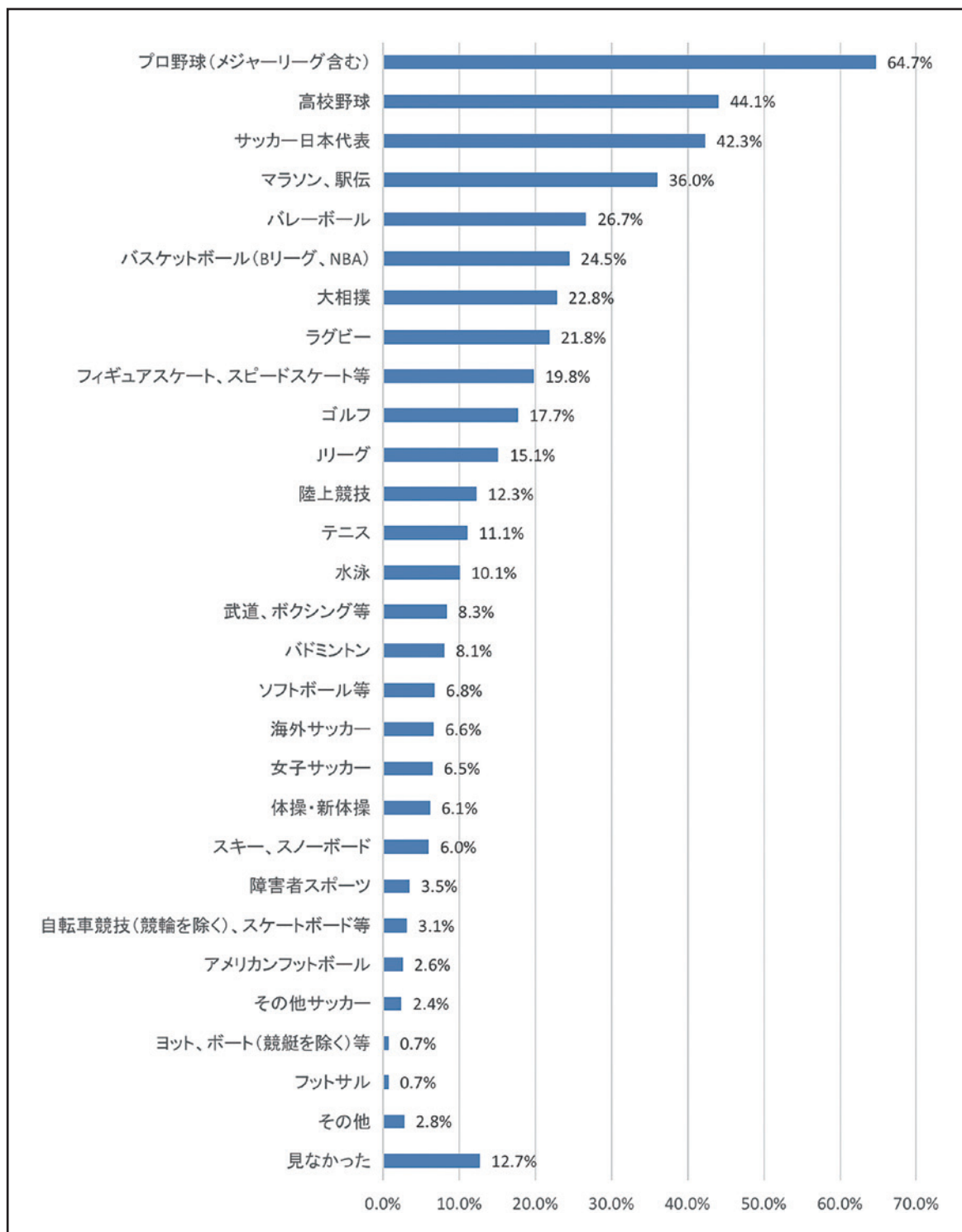


3.TV や Web で観たスポーツ



Q じゃあ TV や Web で観るスポーツだと何が人気なの？

A トップ3は「プロ野球」(65%)、「高校野球」(44%)、「サッカー日本代表」(42%)だよ。野球がすごく人気だね。

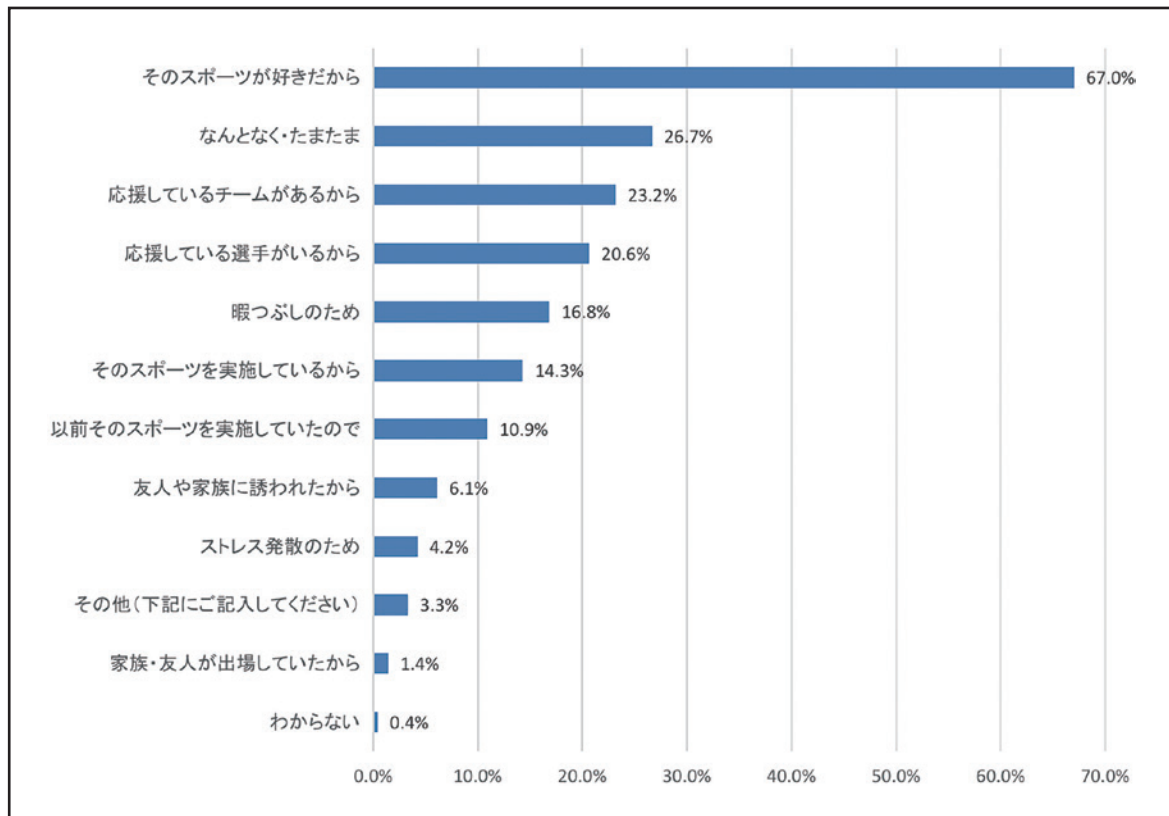


4.TV や Web で観た理由



Q (TV・Web 観戦をした人限定) TV や Web で観た理由は何かな？

A 飛びぬけて多いのが「そのスポーツが好きだから」(67%) だよ。
「なんとなく」「暇つぶし」で観ている人も多いね。



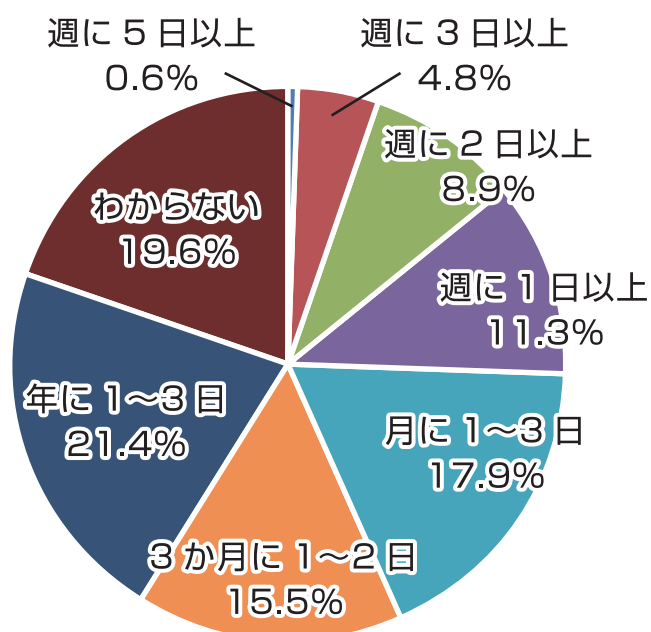
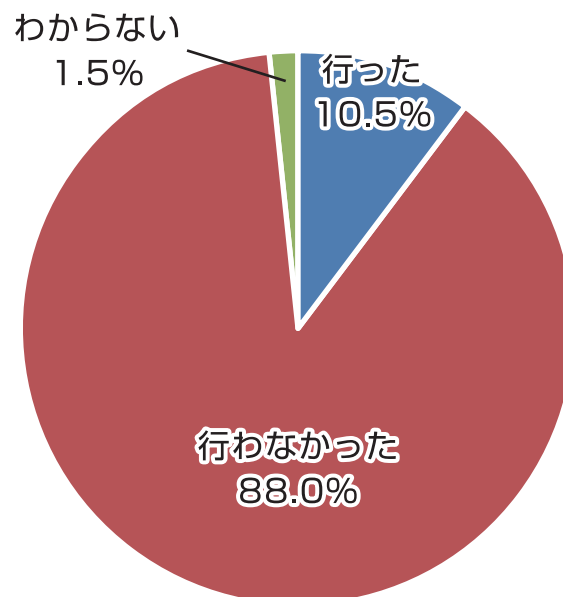
V.「支える」スポーツ

1. スポーツボランティアを行った日数

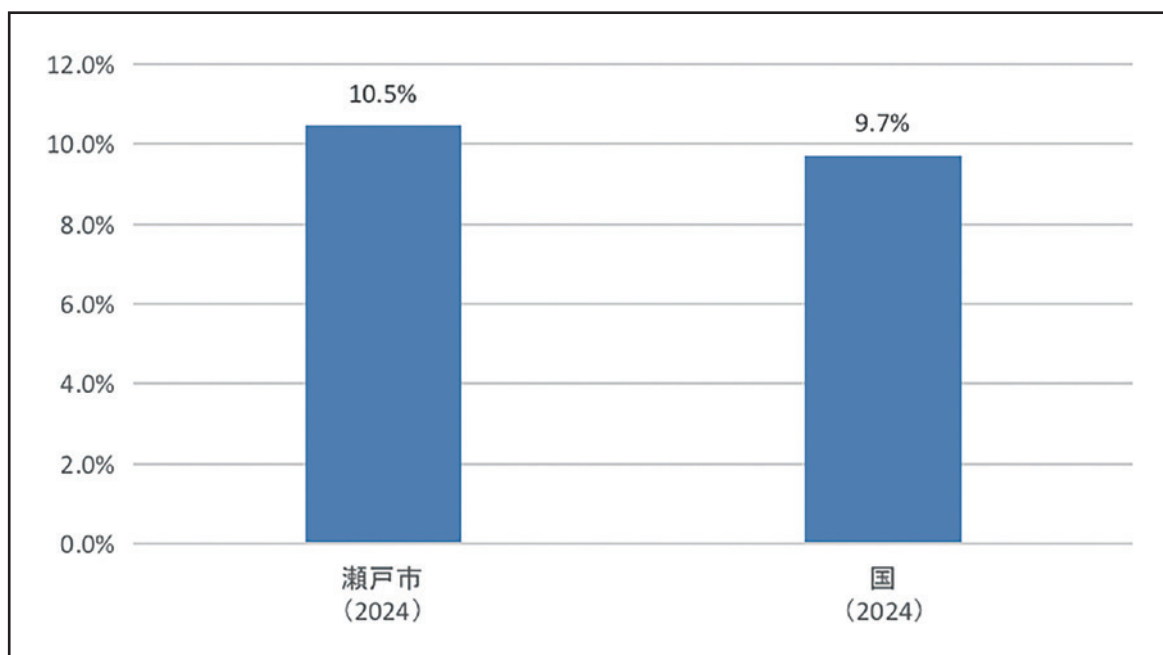


Q 過去1年間に瀬戸市の人たちはスポーツボランティア（「教える」「支える」）をどれくらいしたのかな？

A 年1回以上した人が11%。全国平均（10%）よりわずかに高い値だよ。

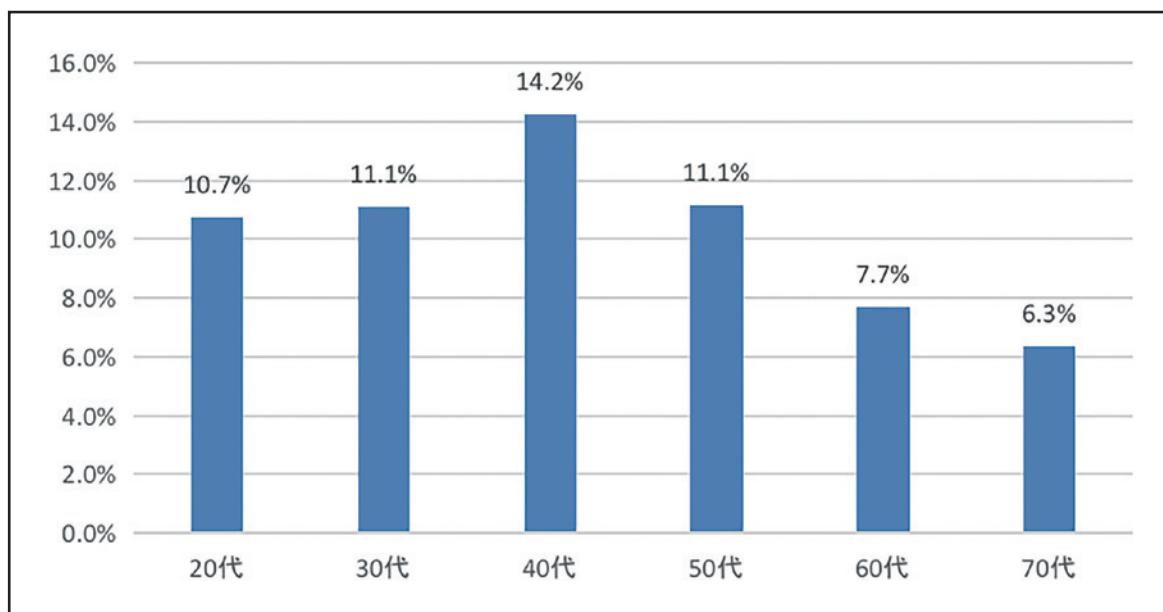


【追加分析①】 全国と比較すると…



わずかだけと瀬戸市の方が高い値だね！

【追加分析②】 年代別にみると…



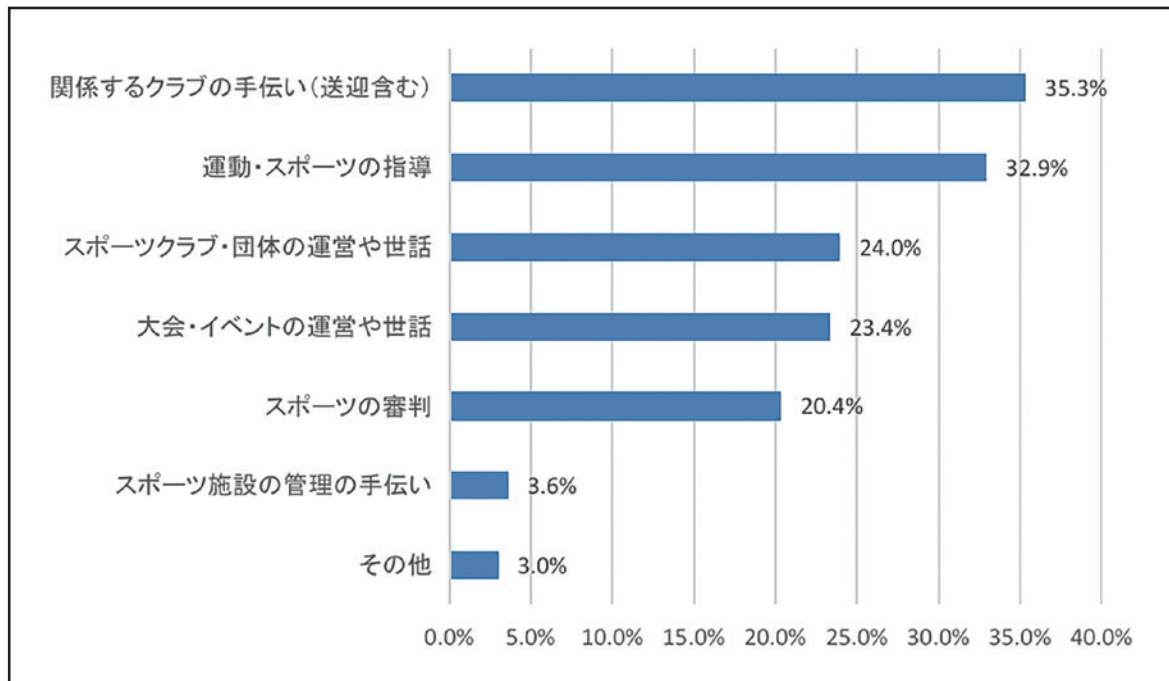
40代の人たちが一番スポーツボランティアをしているね！

2. 行ったスポーツボランティア



Q (年1回以上行った人限定) どんなスポーツボランティアをしたのかな？

A 「関係するクラブの手伝い」(35%)、「運動・スポーツの指導」(33%)が比較的多いね。こうしたスポーツへの関わり方も大切だね。



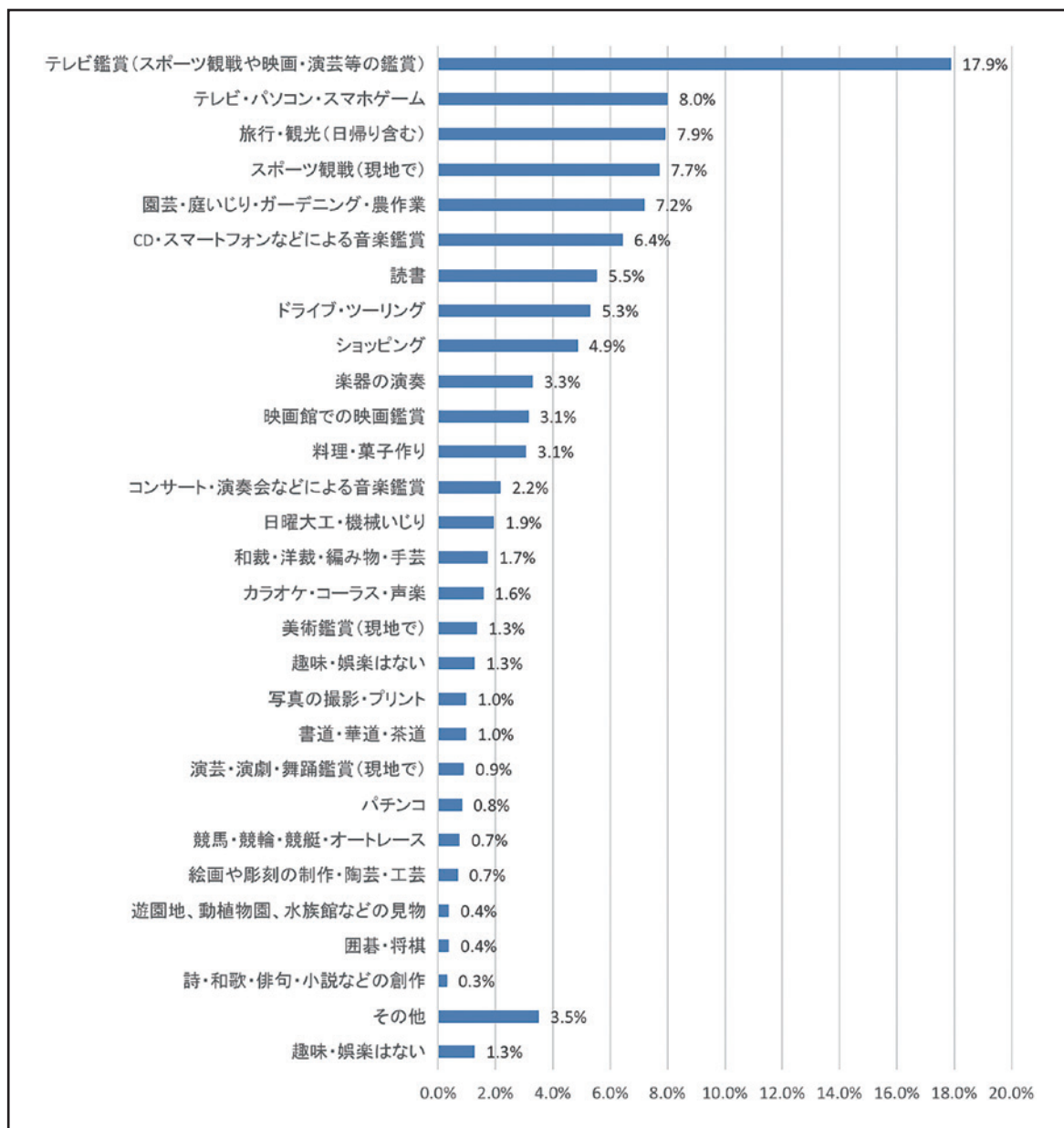
VI. 趣味・娯楽としてのスポーツの位置

1. スポーツを行う意外の趣味・娯楽



Q「する」スポーツは一旦横に置いて、瀬戸市の人たちのメインの趣味・娯楽は何か？ ※単一回答

A 一番多いのは「テレビ鑑賞」(18%)。家で行う趣味・娯楽が中心だけど、「スポーツ観戦(現地で)」(8%)も人気だね。

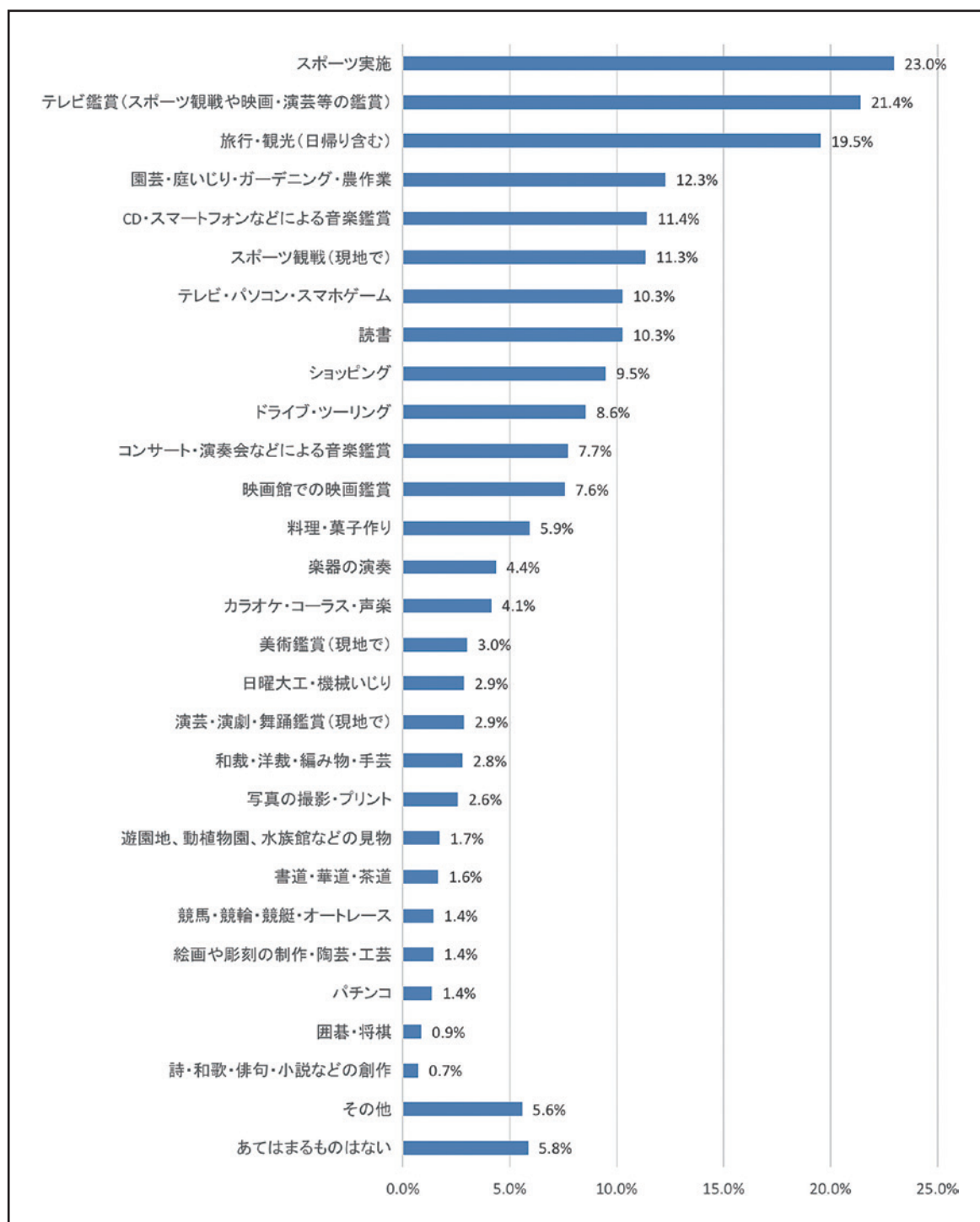


2. 現在重要な趣味・娯楽



Q 「する」スポーツも含めて、重要だと感じている趣味・娯楽は何だろう？ ※最大3つまで回答

A 「スポーツ実施」(23%) が一番多いという結果だったよ。「する」スポーツは大切な文化として根付いているといえるね。

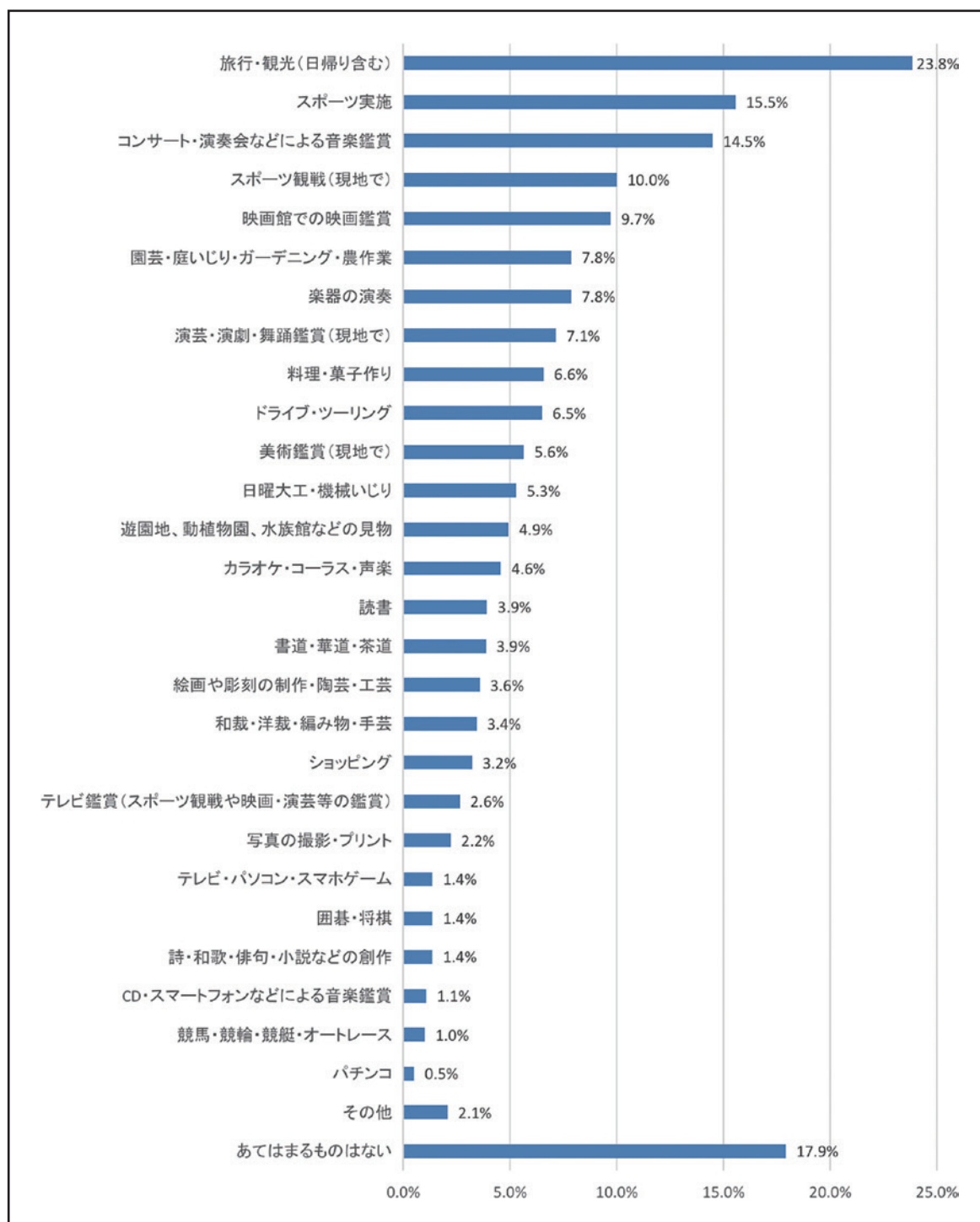


3. 今後行ってみたい趣味・娯楽



Q じゃあ今後行ってみたいと考えている趣味・娯楽は？
※最大3つまで回答

A 一番多いのは「旅行・観光（日帰り含む）」（24%）。「スポーツ実施」（16%）や「スポーツ観戦」（10%）も人気だよ。家の外に出て行かうものが上位を占めているね。



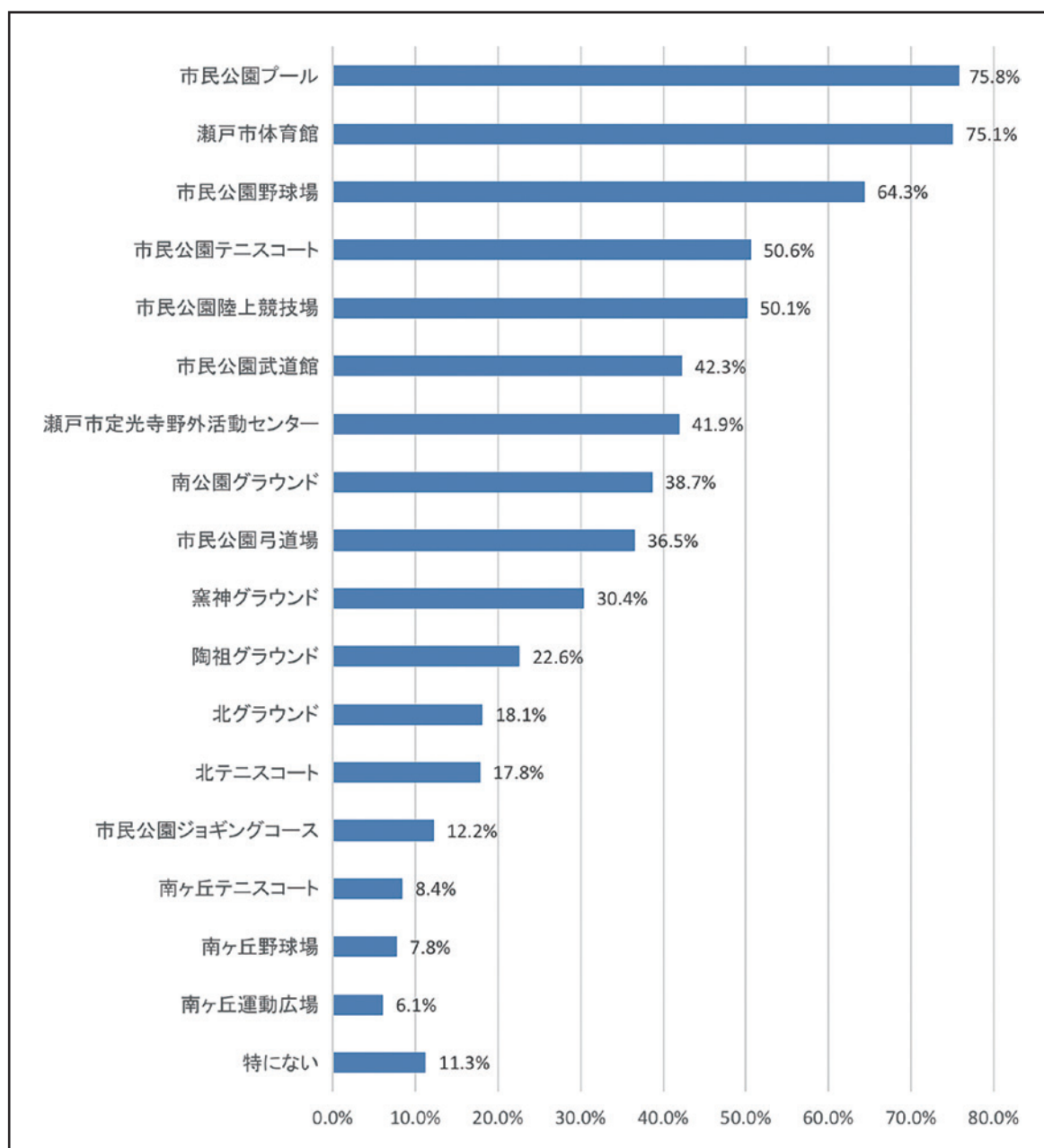
VII. スポーツを取り巻く環境

1. 知っている公共スポーツ施設



Q 皆が知っている瀬戸市内の公共スポーツ施設は何か？

A 「市民公園プール」(76%)と「瀬戸市体育館」(75%)の2つが飛び抜けて多いよ。「南ヶ丘」の認知度はアップしたいね。

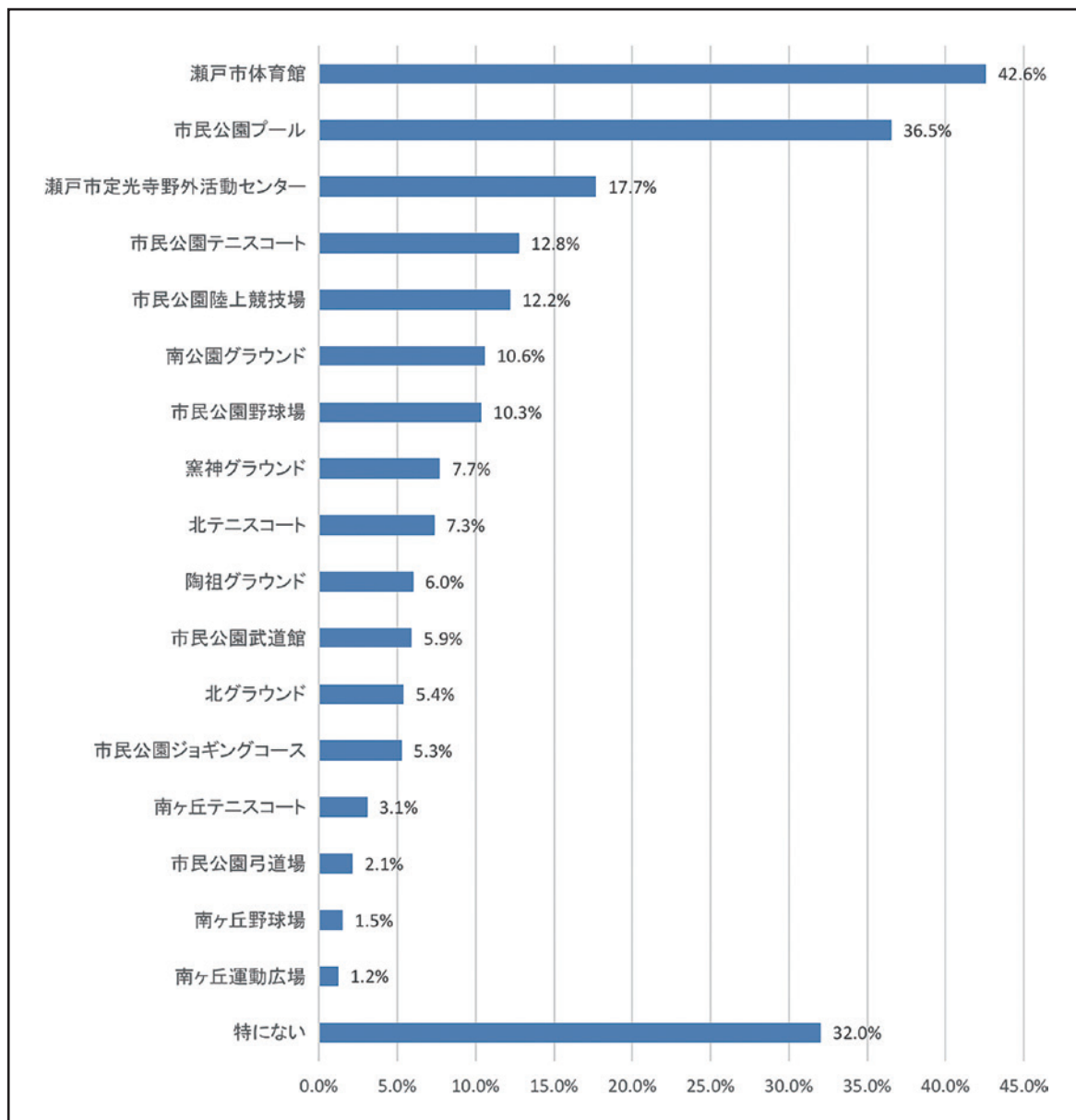


2. 利用したことがあるスポーツ施設



Q その中で使用したことがある施設は？

A 同じく「瀬戸市体育館」(43%)と「市民公園プール」(37%)が親しまれているみたいだね。市民公園以外にある施設の多くは10%を切っているね。

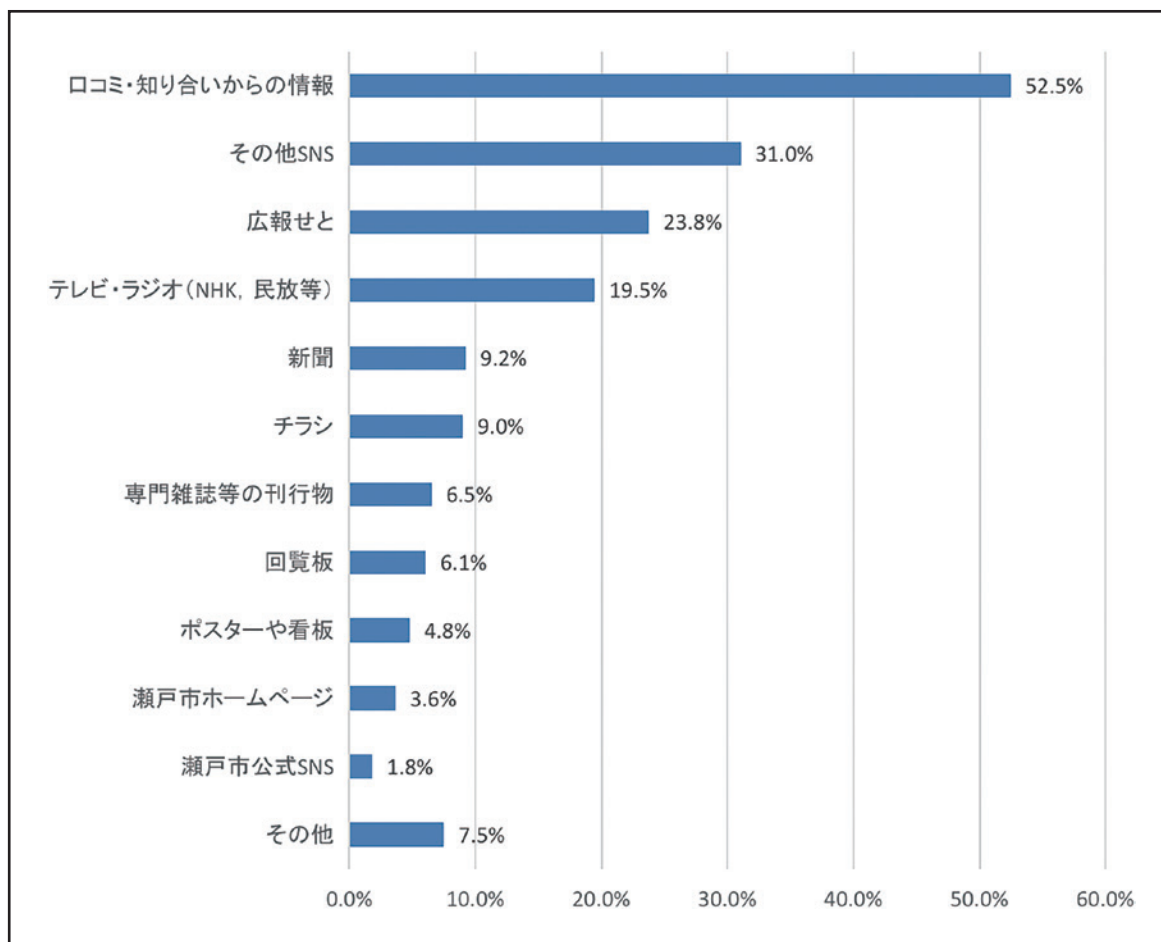


3. 運動・スポーツに関する情報源



Q スポーツをする際に必要な情報はどこから得ているのかな？

A 一番多いのは「口コミ・知り合い」(53%)。その他、「SNS」や「テレビ」に加え「広報せと」(24%) も役立っているようだよ。

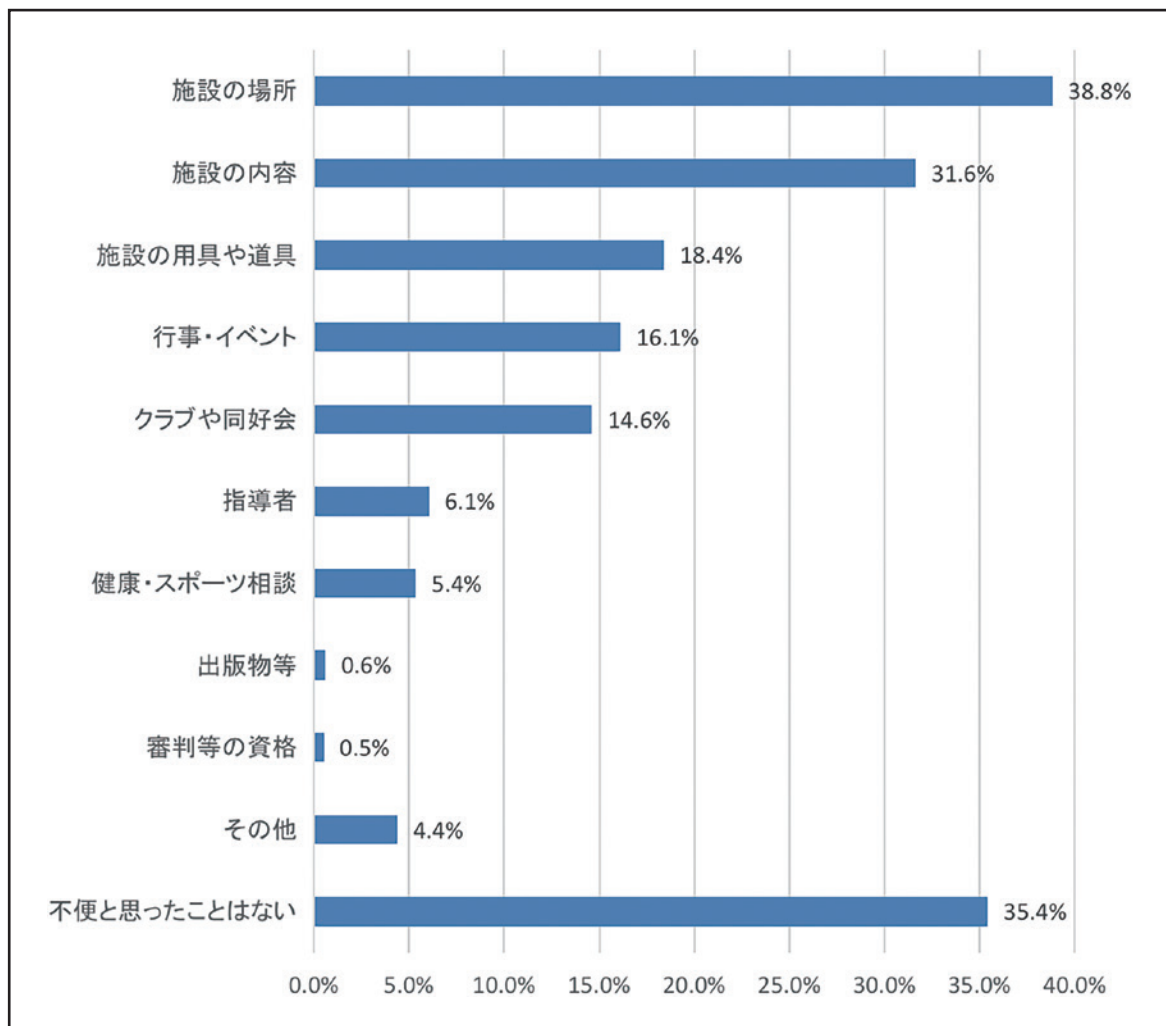


4. 不足している情報



Q といった情報が不足していて不便を感じているのかな？

A 多いほうから順に「施設の場所」(39%)、「施設の内容」(32%)、「施設の用具や道具」(18%)だよ。施設に関する情報が特に不足しているようだね。



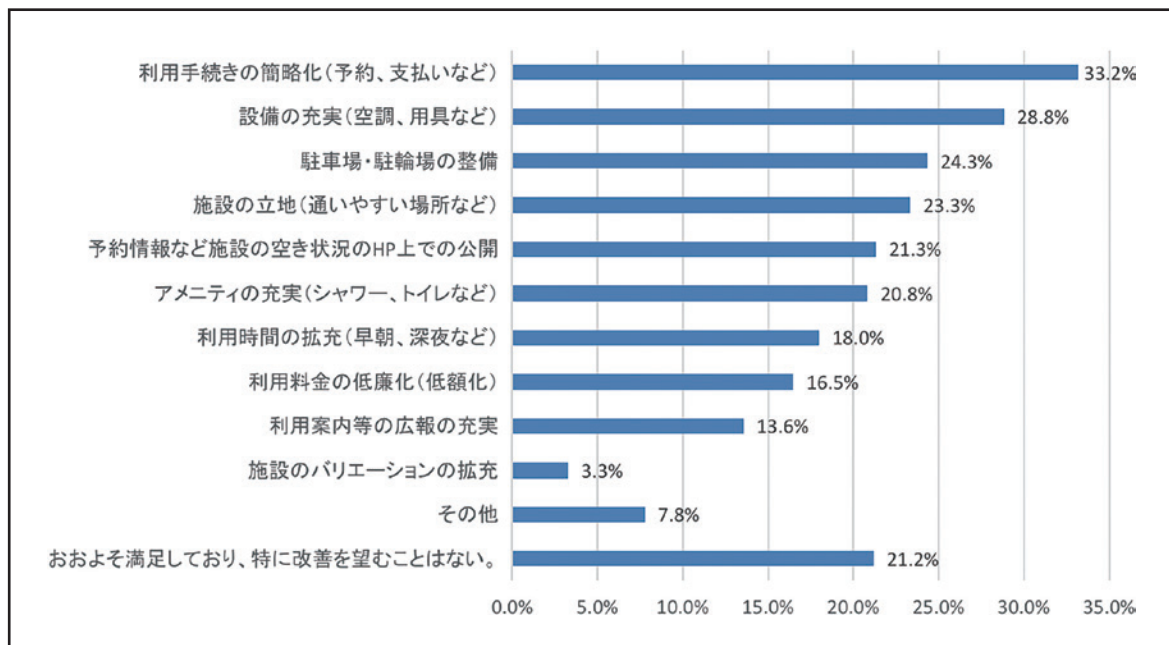
VIII. 瀬戸市のスポーツ政策

1. 公共スポーツ施設への要望



Q 公共スポーツ施設に対して改善を望むことってあるのかな？

A 一番多いのは「利用手続きの簡略化」(33%)。その一方で「特に改善を望むことはない」(21%) という声もあるよ。



【「その他」の回答(抜粋)】

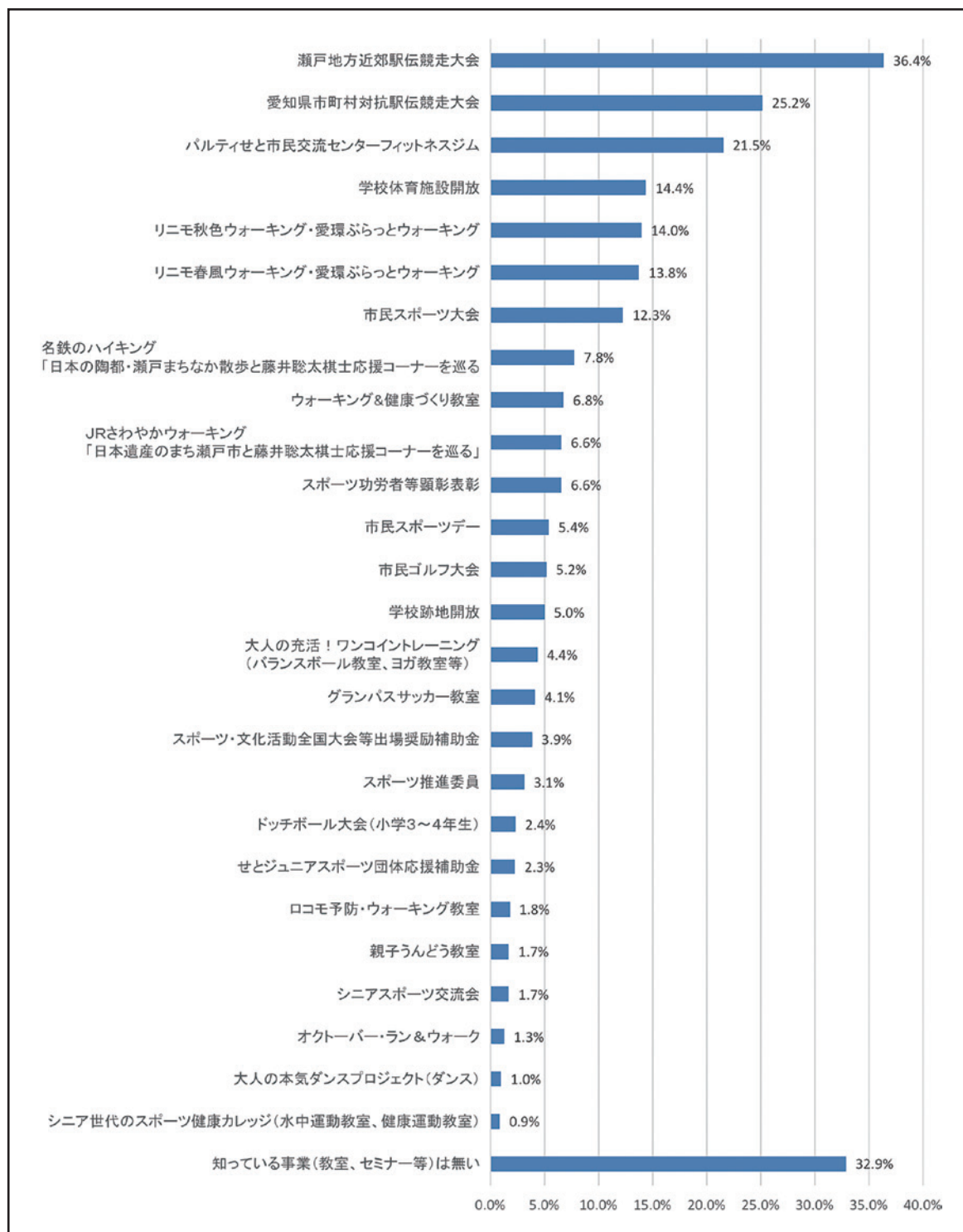
- インターネット予約できる様にしてほしい
- キャンセルの仕方や前日キャンセルなど使いやすくしてほしい
- クレジットカード、電子マネーの使用が出来るようにしてほしい
- サッカーのできる環境を増やしてほしい
- テニスコートのうち特に A コートの破損が激しい、人工芝がところどころ浮いておりボールが不自然な弾み方をする
- ピラティスを受講したいです
- プールを室内プールに改修してほしい、大人がプール利用出来る環境にしてほしい
- 愛犬と利用できるスポーツ施設等が無い
- 屋内温水プールを作してほしい
- 市営フィットネスジムにトレーニングが指導できる人を平日にも配置してほしい
- 市民公園陸上競技場のグラウンド改善(全天候型に改修してほしい)
- 市民体育館にクーラー若しくはそれに準じるものを!
- 瀬戸市在住の人に恩恵のある利用方法に変えてほしい(瀬戸市民優先的利用や市外在住の人より価格が安いなど)
- 託児付きのジムを作してほしい
- 働いている世代が利用しやすい夜間のプログラムを拡充してほしいです
- 有料でいいので道具(ボールとか)貸して手ぶらに近い利用がしたい

2. 市のスポーツ事業の認知度



Q 市が行っているスポーツ事業ってどのくらいの人知っているのかな？

A 1位「瀬戸駅伝」(36%)、2位「市町村駅伝」(25%)と、駅伝の認知度が比較的高いよ。一方で認知度10%を切る事業も多いよ。

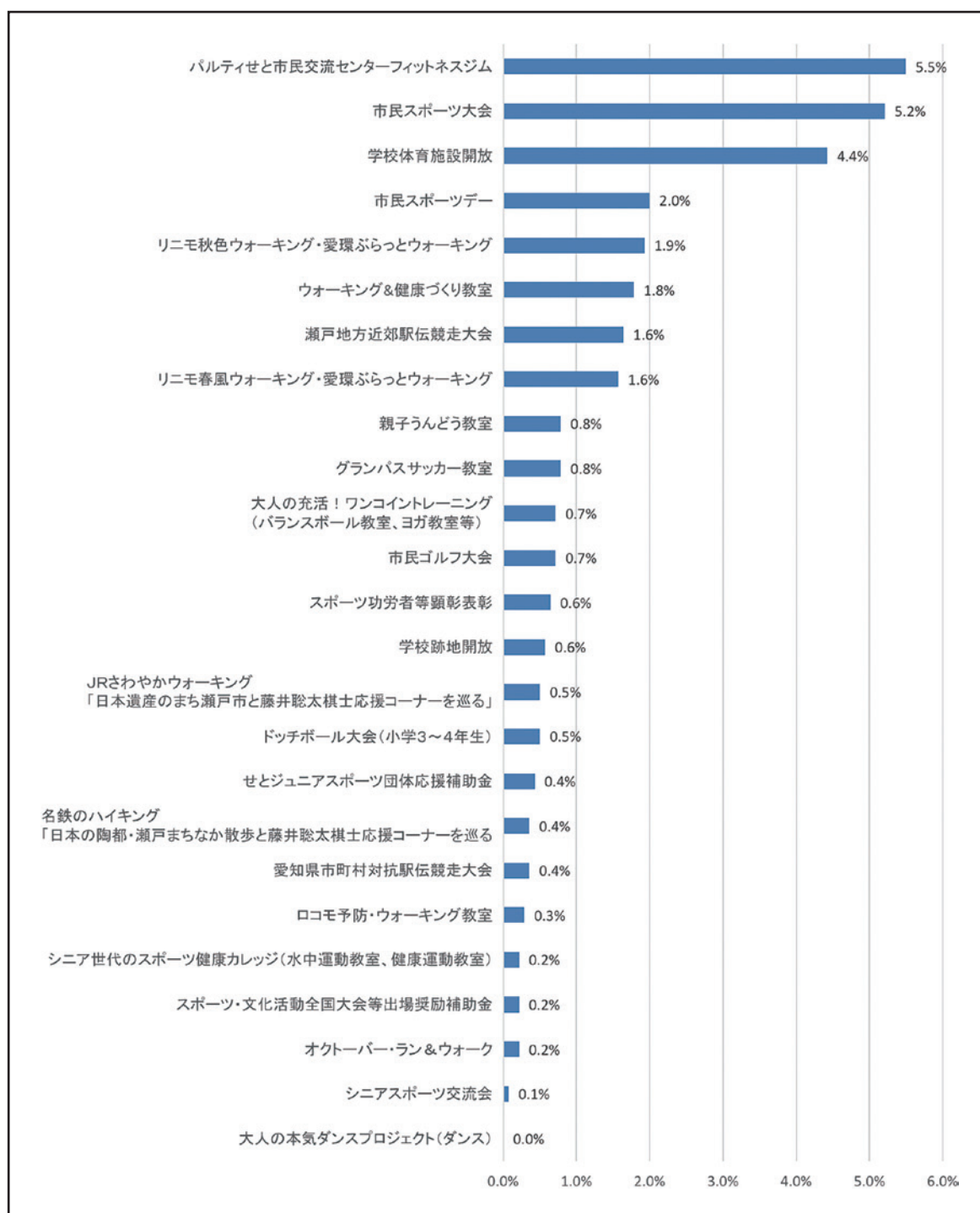


3. 市のスポーツ事業への参加状況



Q 実際に参加・利用したことがある市のスポーツ事業って何かな？

A トップ3は「パーティセとフィットネスクラブ」(6%)、「市民スポーツ大会」(5%)、「学校体育施設解放」(4%)だよ。その他の事業も含め参加率をどんどん高めていきたいね。

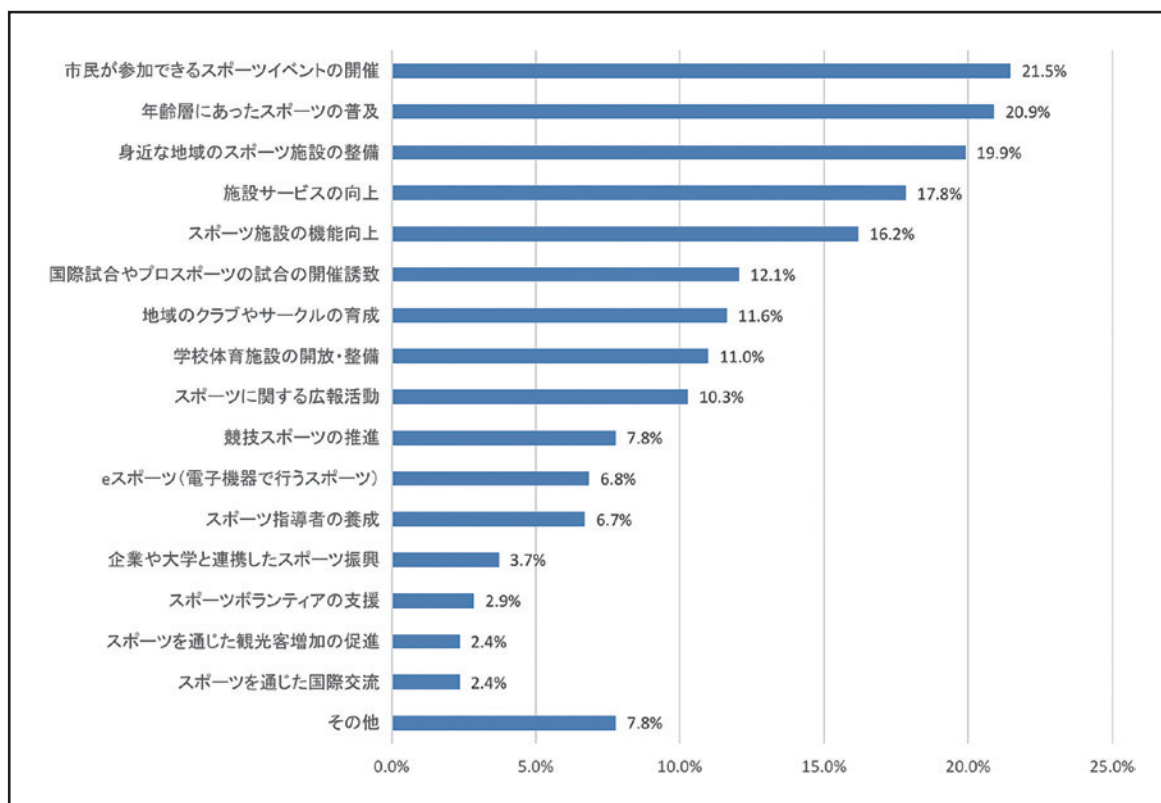


4. 市への要望



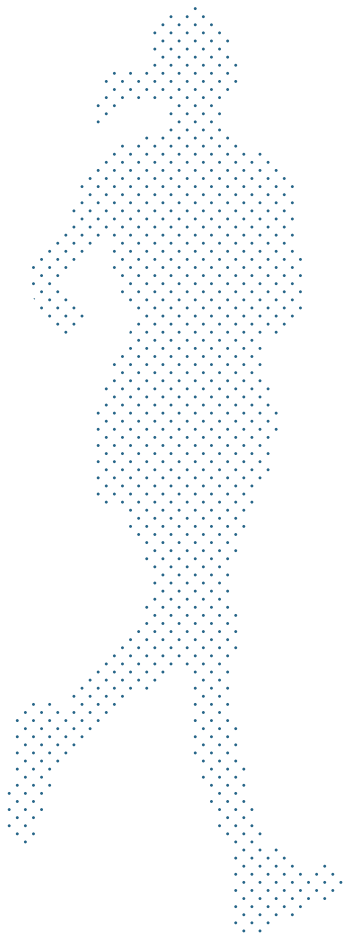
Q 市の取り組みに対して、どんな要望があるのかな？

A 多いほうから順に「イベント開催」(22%)、「年齢層にあったスポーツの普及」(21%)、「施設の整備」(20%)だよ。身近な「する」スポーツの環境整備を求める声が多いね。



【「その他」の回答(抜粋)】

- スポーツイベント参加のハードルの引き下げ
- スポーツが苦手な人でも参加しやすいスポーツの充実と広報活動の増加
- スポーツを通じた楽しい企画、ワンコインで全年齢が楽しめるもの
- 高齢者が多いので、気楽に参加できる距離や移動手段
- 今のスポーツに関するイベントでは年1回開催のものが多くと思います。年間を通じて毎月同じテーマのスポーツイベントがあると参加者が増えるのではありませんか？
- 山歩きがメインなので、登山道、遊歩道などの整備拡充
- 市民体育館までの交通手段の充実(バス路線)
- 小学生の体操教室など、個人でできるスポーツを期間限定ではなく通年やって欲しいです
- 小中学校の部活を無くさないで欲しい。今の形を受け継いでで続けていけるよう資金、場所の提供をお願いします
- 障害者向けのスポーツ講座
- 川沿いとかに、自由に使えるバスケットコート(ゴール)を作って欲しい
- 素人、一般の人が興味を持つような内容の検討
- 中学在学中、学校授業での水泳がほぼなかったの、夏の水泳授業の充実化。水難予防にも行わないといけない
- 予約なしで参加できるラジオ体操とか太極拳など、大勢で参加できるもの
- 利益が出るような運動イベントでも各会場の使用を認めて欲しいです



**瀬戸市民のスポーツライフ
「運動・スポーツ習慣の定着に向けたプロジェクト」
「瀬戸市民のスポーツ実施率向上に向けたプロジェクト」
スポーツに関するアンケート調査 報告書**

令和 8 年 2 月 20 日発行

**発行者：瀬戸市経済文化部スポーツ課
協力：名古屋学院大学スポーツ健康学部
准教授 沖村多賀典**

この活動は
「大学コンソーシアム瀬戸 新しい文化創造プロジェクト」
からの助成を受け実施しました